

令和2年度 年報



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

川西赤十字病院



発刊によせて

Redcross Hospital of the people, by the people, for the people

川西赤十字病院 院長 酒井 龍一

激動の時代

政府より地域医療構想なるものが出されました。

日本の医療は戦後民間の力で発展してきたところが多く、多くの病院が乱立している所もあると思います。また、医療の発展は目覚ましく、高額な薬や材料での治療で今までは不治の病とされていた病気の患者さんに一筋の光をもたらしています。そうした中ですべての医療機関（あるいは医師）が同じように高度先進医療から生活を守る医療を展開するのは到底無理であると思われます。また、国庫は国民皆保険で膨らむ医療に体制が追いついておらずひっ



迫しているのも事実です。こうした中出されたのが地域医療構想です。まず、確認すべきはこの地域医療構想の主役は国民です。ならば、地域住民がいかに健康を守る医療（生活を守る医療から高度先進医療まで）を日本中どこでも受けられるようにするユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（東京宣言 2017 年）の考え方で推し進める必要があります。この健康を守る医療のなかでそれぞれ医療機関が地域住民に何をすれば効率よく医療を展開できるかを考えるのが地域医療構想だと思います。こうした中 2019 年末より 2020 年度は COVID-19 の感染対策に多くの力を割くこととなりました。この治療には大変な労力を要するので、各医療機関の規模に応じて患者治療を応分する地域もあれば、拠点を作って集中させる地域も出てきております。それぞれ一長一短あると思いますが、それぞれの地域で医療をいかに効率的に展開するか考える機会にはなっていると思います。どこの地域でもこの感染症の抑え込みには失敗は許されないので、一丸となって対応していることと思います。それぞれ英知をしばればきっと明るい未来は来ると信じています。

病院の使命

病院にとって病気の治療を行うのがその使命です。治療に関して最も大切なのは継続性だと考えます。病院はいかに継続していけるかが大切と考えております。技術の発達に伴い世界はどんどん身近になり、新しい技術がどんどん出てきます。10年前はSF（サイエンス フィクション）であったことがもう身近にある時代です。この中で継続していくことは大変です。世界中のことに目を向けて、情報を得て自分なりに解釈して、必要なものは吸収する。個々が絶え間ない進化を続ける必要があります。この進化をするために大事なことは自分で自分の範囲（限界）を決めないことで、自分でやってみるという発想が必要だと思います。そうして得たものを地域住民に還元していくことを繰り返していくことが継続への道と信じています。そうしたことで病院も地域住民に支えられ、病院も地域住民に健康的な生活という形で還元することが大切だと思います。リンカーンのゲティスバーグ演説を基に題とさせていただきましたが病院もまた、住民の、住民による、住民のための存在であり続けることが大切と考えております。



秋晴れの川西赤十字病院

基本理念・基本方針・患者の権利

基本理念

赤十字の原則に基づき「人道」の精神で、地域住民とともに生きている喜びをわかちあえる医療を行います。

基本方針

1. 地域医療を中心に、健康管理から在宅ケアまで一貫した医療を行います。
2. 患者様の安心と信頼が得られ、満足のいただける医療を目指します。
3. 赤十字精神のもとに、災害救護、保健衛生活動など社会活動を行います。
4. 健全経営に取り組み、医療活動の安定を目指します。
5. 職員は研鑽に励み、質の高い医療を目指します。

患者様の権利の尊重

次に掲げる患者様の権利を尊重いたします。

1. 人間の尊厳が守られる権利
2. 適切な医療を受ける権利
3. プライバシーを尊重される権利
4. 医療の情報、説明を受ける権利
5. 医療行為を選択する権利

目 次

I 沿革

- 1. 沿革・・ 3
- 2. 歴代幹部職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3. 川西赤十字病院運営審議会委員および幹事・・・・・・・・ 6

II 概要

- 1. 施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 2. 1年間の歩み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 3. 建物配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 4. 組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 5. 職種別職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 6. 特殊診療機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 7. 特殊診療等指定状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 8. 施設基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 9. 各委員会名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 10. 委員会活動記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 11. 施設工事・医療機器整備の状況・・・・・・・・ 45

III 部門別概要

- 1. 診療部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
- 2. 診療支援部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
- 3. 看護部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
- 4. 医療社会事業部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
- 5. 事務部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72

IV 統計

- 1. 患者統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
- 2. 経営状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
- 3. 労働災害事故状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89

V 職員活動

- 1. 福利厚生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
- 2. 教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94

VI 学術成績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97

VII 災害救護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 103

I 沿革

1. 沿革

昭和 6 年 6 月	北佐久郡本牧村外 8 ヲ村「川西連合組合伝染病院」設立
昭和 7 年 9 月	北佐久郡本牧村外 8 ヲ村組合立「川西連合病院」改称・開設
昭和 23 年 7 月	日本赤十字社長野支部に運営を移管 (33 床)
昭和 32 年 1 月	一般病棟改築工事 (木造) (一般 71 床・伝染 12 床)
昭和 42 年 4 月	伝染病棟改築工事 (鉄筋) (一般 71 床・伝染 12 床)
昭和 43 年 12 月	一般病棟一部改築工事 (鉄筋) (一般 71 床・伝染 12 床)
昭和 56 年 4 月	伝染病棟の統廃合により廃止 (一般 71 床)
昭和 59 年 3 月	一般病棟一部改築工事 (一般 80 床)
昭和 60 年 4 月	開設許可事項の変更許可 (一般 71 床)
昭和 61 年 10 月	一般病棟改築工事完成 (鉄筋) (一般 97 床)
昭和 62 年 6 月	人間ドック開始
平成 1 年 9 月	眼科開設
平成 2 年 11 月	訪問看護実施
平成 4 年 9 月	出張診療開始 (望月町春日診療所)
平成 8 年 12 月	訪問看護ステーション開設
平成 10 年 3 月	無菌手術室 (クリーンルーム) 改築工事
平成 11 年 9 月	指定居宅介護支援事業者認定
平成 12 年 3 月	南棟増築工事 (救急治療室・リハビリ室)
平成 13 年 10 月	院外処方箋開始
平成 15 年 10 月	病院開設許可事項の変更 (一般 48 床・療養 36 床)
平成 20 年 12 月	レセプトオンライン請求開始
平成 25 年 11 月	病院開設許可事項の変更 (一般 37 床・療養 47 床)
平成 27 年 1 月	地域包括ケア病床導入 (8 床)
平成 27 年 6 月	地域包括ケア病床増床 (13 床)
平成 28 年 8 月	地域包括ケア病床増床 (17 床)
平成 30 年 10 月	病院開設許可事項の変更 (一般 51 床・療養 33 床)
	地域包括ケア病床増床 (25 床)
令和 元年 10 月	地域包括ケア病床増床 (30 床)
令和 2 年 1 月	在宅療養支援病院認定
令和 2 年 10 月	臨時外来開設 (新型コロナウイルス感染症対策関連)
令和 3 年 2 月	長野県新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定

2. 歴代幹部職員

役職名	代数	氏名	期間
院長	第 1 代	桜井 秀雄	昭和 23 年 7 月 24 日 ～ 昭和 24 年 10 月 30 日
	第 2 代	加藤 又三	昭和 24 年 11 月 1 日 ～ 昭和 31 年 3 月 23 日
	第 3 代	宮澤 博	昭和 31 年 3 月 24 日 ～ 昭和 33 年 2 月 17 日
	第 4 代	百瀬 滋男	昭和 33 年 2 月 18 日 ～ 昭和 36 年 6 月 25 日
	第 5 代	池上 文哉	昭和 36 年 6 月 26 日 ～ 昭和 39 年 5 月 31 日
	第 6 代	柳沢 昭吾	昭和 39 年 6 月 1 日 ～ 昭和 44 年 12 月 31 日
	第 7 代	大沢 智昭	昭和 45 年 4 月 1 日 ～ 昭和 48 年 4 月 30 日
	第 8 代	宮下 富士弥	昭和 48 年 6 月 15 日 ～ 昭和 49 年 5 月 31 日
	第 9 代	下村 藤男	昭和 49 年 7 月 1 日 ～ 昭和 57 年 3 月 31 日
	第 10 代	木下 秀雄	昭和 57 年 4 月 1 日 ～ 昭和 61 年 9 月 30 日
	第 11 代	青木 猛	昭和 61 年 10 月 1 日 ～ 昭和 62 年 3 月 31 日
	第 12 代	西澤 啓治	昭和 62 年 4 月 1 日 ～ 昭和 63 年 3 月 31 日
	第 13 代	渡辺 厚	昭和 63 年 4 月 1 日 ～ 平成 元年 3 月 31 日
	第 14 代	鈴木 完治	平成 2 年 1 月 1 日 ～ 平成 8 年 3 月 31 日
	第 15 代	大塚 満州雄	平成 8 年 4 月 1 日 ～ 平成 15 年 3 月 31 日
	第 16 代	大内 悦雄	平成 15 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日
	第 17 代	田村 泰夫	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
	第 18 代	大和 眞史	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 3 年 3 月 31 日
	第 19 代	酒井 龍一	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 現職

役職名	代数	氏名	期間
副院長	第 1 代	宮澤 博	昭和 30 年 7 月 1 日 ～ 昭和 31 年 3 月 23 日
	第 2 代	百瀬 滋男	昭和 31 年 3 月 24 日 ～ 昭和 33 年 2 月 17 日
	第 3 代	池上 文哉	昭和 34 年 5 月 1 日 ～ 昭和 36 年 6 月 26 日
	第 4 代	荻原 昭	昭和 36 年 6 月 21 日 ～ 昭和 39 年 3 月 31 日
	第 5 代	下村 藤男	昭和 40 年 3 月 27 日 ～ 昭和 49 年 6 月 30 日
	第 6 代	木下 秀雄	昭和 54 年 3 月 1 日 ～ 昭和 57 年 3 月 31 日
	第 7 代	渡辺 厚	昭和 63 年 1 月 1 日 ～ 昭和 63 年 3 月 31 日
	第 8 代	鈴木 完治	平成 元年 4 月 1 日 ～ 平成 元年 12 月 31 日
	第 9 代	大内 悦雄	平成 10 年 2 月 1 日 ～ 平成 15 年 3 月 31 日
	第 10 代	米倉 宏明	平成 20 年 4 月 1 日 ～ 現職

役職名	代数	氏名	期間
事務部長	第 1 代	藤沢 大七	昭和 31 年 8 月 31 日 ～ 昭和 36 年 12 月 30 日
	第 2 代	田中 武一	昭和 37 年 1 月 1 日 ～ 昭和 40 年 4 月 1 日
	第 3 代	杉浦 福男	昭和 40 年 4 月 1 日 ～ 昭和 41 年 4 月 11 日
	第 4 代	芦田 泰	昭和 46 年 8 月 1 日 ～ 平成 4 年 1 月 31 日
	第 5 代	中山 恵暢	平成 4 年 2 月 1 日 ～ 平成 7 年 12 月 31 日
	第 6 代	高畑 實	平成 8 年 1 月 1 日 ～ 平成 8 年 2 月 28 日
	第 7 代	依田 久	平成 8 年 2 月 1 日 ～ 平成 14 年 3 月 31 日
	第 8 代	今井 昭彦	平成 14 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日
	第 9 代	竹花 英夫	平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 3 月 31 日
	第 10 代	西谷 圭一	平成 23 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 8 月 31 日
	第 11 代	佐藤 龍彦	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日
	第 12 代	小須田 弘之	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
	第 13 代	小林 雅弘	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 現職

役職名	代数	氏名	期間
看護部長	第 1 代	元矢 富美子	平成 5 年 4 月 1 日 ～ 平成 11 年 3 月 31 日
	第 2 代	坂口 直子	平成 11 年 4 月 1 日 ～ 平成 14 年 3 月 31 日
	第 3 代	若林 貞子	平成 14 年 4 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日
	第 4 代	竹村 幸子	平成 22 年 4 月 1 日 ～ 平成 24 年 3 月 31 日
	第 5 代	小林 厚子	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日
	第 6 代	小山 幹子	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
	第 7 代	水内 豊	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 現職

3. 川西赤十字病院運営審議会委員および幹事

委 員

職 名	氏 名
佐久市長	柳田 清二
東御市長	花岡 利夫
立科町長	両角 正芳
佐久市議会議長	神津 正
東御市議会議長	横山 好範 長越 修一 (令和2年11月21日～)
立科町議会議長	森本 信明
川西保健衛生施設組合長	花岡 利夫
川西保健衛生施設組合議長	大塚 雄一
佐久大学学長（会長）	堀内 ふき
こやまクリニック院長	小 山 實
日本赤十字社長野県支部事務局長	清 水 深
川西赤十字病院長（副会長）	大和 眞史

幹 事

職 名	氏 名
佐久市健康づくり推進課長	柏木 美紀子
東御市健康保健課長	小松 信子
立科町町民課長	荻原 義行
川西保健衛生施設組合事務局長	遠山 一郎
日本赤十字社長野県支部事業推進課長	山崎 慎哉
川西赤十字病院事務部長	小林 雅弘

II 概 要

1. 施設概要

名 称：川西赤十字病院

所在地：長野県佐久市望月 318

診療科目：内科・消化器科・循環器科・リウマチ科・外科・整形外科・眼科・
リハビリテーション科・泌尿器科

許可病床数：84床（一般51床（地域包括ケア病床30床）・療養33床）

不動産：土地 7,730.95 m²

【内訳】

日赤所有地 2,108.66 m²

借用地 5,622.29 m²

建物 4,224.18 m²

【内訳】

日赤所有建物 3,987.83 m²

借用地 236.35 m²



川西赤十字病院運営審議会

2. 1年間の歩み

【令和2年】

4月 1日 入社式・辞令交付式
新入職員等オリエンテーション

		「8名(医師2、看護師1、薬剤師1、社会福祉士1、事務職3)」
	10日	長野県赤十字病院看護部長会議
	14日	全国医療施設3役合同会議(web)
	17日	NPO法人「未来工房もちづき」懇談会(多津衛民芸館)
	21日	全国赤十字病院看護部長会議
5月	12日	佐久平地域病院連絡会「院長・事務部長(佐久医師会館)」
	20日	中部ブロック看護部長会役員会
	24日	中部ブロック赤十字病院院長 web 会議
6月	2日	長野県看護協会支援(長野市)
	3日	川西消防署業務打合せ会議
	13日	長野県看護協会支援(信濃町)
	18日	川西保健衛生施設組合課長会(川西保健衛生施設組合会議室) 職員学習会「廃棄物分別方法の一部変更と新型コロナウイルス感染症対策 について①」(40名)
	19日	心のケア研修会議(安曇野市)
	20日	長野県看護協会定時総会
	29日	職員学習会「廃棄物分別方法の一部変更と新型コロナウイルス感染症対策 について②」(35名)
7月	3日	中部ブロック赤十字病院院長 web 会議
	9日	職員学習会(MRM委員会)「インシデント・アクシデントレポート集計報告と コミュニケーションエラーを防ぐ①」(34名)
	10日	NPO法人「未来工房もちづき」懇談会
	16日	職員学習会(MRM委員会)「インシデント・アクシデントレポート集計報告と コミュニケーションエラーを防ぐ②」(35名) 「コロナ関連 防護具寄贈 受取式」立科ロータリークラブ様より
	17日	「環境整備 草取り作業」患者サービス委員会
	27日	佐久PCRセンター支援(医師・看護師)
8月	3日	長野県看護協会
	5日	高校生一日看護師体験「小諸商業高校(4名)、佐久平総合技術高校(2名)」
	6日	高校生一日看護師体験「小諸高校(7名)」
	7日	長野県看護協会支援(千曲市)
	18日	高校生一日看護師体験「野沢南高校(8名)」 長野県看護協会支援(浅間病院)

9月	2日	佐久PCRセンター支援（医師・看護師）
	3日	敬老会（院内）
	4日	長野県看護協会支援（長野市）
	7日	長野県看護協会支援（長野市）
	17日	職員学習会（認知症ケアチーム）「認知症の疾患と看護」（39名）
	23日	佐久PCRセンター支援（医師・看護師）
	25日	本社看護部長 web 会議
10月	1日	臨時外来開設（新型コロナウイルス感染症対策関連）
	8日	職員学習会（MRM委員会）「インシデントレポートからはじまる事故防止①」（40名）
	13日	浅科中学校「職場体験」（4名）
	15日	職員学習会（MRM委員会）「インシデントレポートからはじまる事故防止②」（16名）
	19日	外部講師による職員学習会 講師：柳田清二 佐久市長 「タイトル：これからの佐久市」 井上憲昭 富士見高原病院名誉院長 「タイトル：地域医療を守る、取り組み」
	20日	看護協会佐久支部
	22日	「令和元年台風第19号義援金 受取式」 蓼科高校様より
11月	1日	中部ブロック看護部長会役員会
	2日	NPO法人「未来工房もちづき」川西赤十字病院を支える会準備会浅科地区懇談会（浅科商工会館）（21名） 職員・患者満足度調査開始
	4日	職員学習会「下半期へのキックオフ：大和院長」
	5日	佐久大学看護学生実習
	9日	中部ブロック看護部長 web 会議
	13日	病院長・事務部長 web セミナー
	15日	社会保障推進協議会 地域医療シンポジウム（地域医療構想関連）
	16日	看護協会佐久支部役員会（浅間病院）
	19日	職員学習会（院内感染対策委員会）「迫りくる新型コロナウイルス感染症、臨時外来の活用と入院フローについて①」（50名）
	11月	20日
21日		職員学習会（院内感染対策委員会）「迫りくる新型コロナウイルス感染症、臨時外来の活用と入院フローについて②」（37名）
12月	1日	佐久平地域病院連絡会「院長・看護部長（佐久医師会館）」
	2日	佐久PCRセンター支援（医師・看護師）

- 長野県看護協会支援(須坂市)
- 3日 長野県看護協会理事会(松本市)
- 17日 長野県看護協会支援(佐久市)
- 18日 「コロナ関連防護具寄贈 受取式」 大澤酒造様より
- 22日 院長・部長塾(web)
- 25日 佐久PCRセンター支援(医師・看護師)
- 28日 仕事納めの式
職員頭痛発熱「抗原定性検査：陽性」、①PCR検査実施「入院患者30名、職員28名」
- 29日 佐久保健所調査・指導、病棟消毒、救急車受入れ・入退院休止
①実施PCR検査結果「職員1名：陽性」 ホームページ等にて公表

【令和3年】

- 1月 2日 病棟入院患者2名：頭痛発熱発症「抗原定性検査：陽性」
②PCR検査実施「入院患者3名」
- 3日 ②実施PCR検査結果「患者2名：陽性」・・・院内感染発生
- 4日 仕事始めの式
記者会見「当院における新型コロナウイルス感染者の発生について」
(マスコミ6社)
③PCR検査実施「入院患者27名、職員等47名」
- 5日 ③実施PCR検査結果「患者3名、職員2名(無症状病原体保有者)：陽性」
- 6日 ④PCR検査実施「入院患者33名、職員等63名」
①長野県クラスター対策チーム来院指導
④実施PCR検査結果：全員「陰性」、⑤PCR検査実施「入院患者1名、職員等3名」
佐久圏域特別警報Ⅰ発出「佐久市感染警戒レベル4」(小諸市：レベル5)
- 7日 ⑤実施PCR検査結果：「入院患者1名：陽性」
- 8日 ⑥PCR検査実施「入院患者19名、職員等44名」
- 9日 ⑥実施PCR検査結果：「入院患者1名：陽性」
- 11日 佐久圏域特別警報Ⅱ発出「佐久市感染警戒レベル5」に引上げ
(佐久市対策強化期間：1/11～1/24)
- 1月 12日 ⑦PCR検査実施「入院患者19名、職員等35名」
看護業務支援受入①(長野日赤看護師2名：1/12～1/15)
- 13日 ⑦実施PCR検査結果：「全員：陰性」⑧PCR検査実施「入院患者33名、職員等49名」
- 14日 ⑧実施PCR検査結果：「全員：陰性」
- 15日 ②長野県クラスター対策チーム来院指導 ⑨PCR検査実施「入院患者19名、職員等28名」
佐久広域連合「病院群輪番制」担当者会議

	16 日	⑨実施 PCR 検査結果：「全員：陰性」
	18 日	看護業務支援受入②(諏訪日赤看護師 3 名：1/18～1/22)
	19 日	⑩PCR 検査実施「入院患者 1 名、職員等 2 名」
	20 日	⑩実施 PCR 検査結果：「全員：陰性」⑩PCR 検査実施「入院患者 19 名、職員等 52 名」
	21 日	⑪実施 PCR 検査結果：「全員：陰性」 令和 2 年度 運営審議会幹事会(川西保健衛生施設組合会議室)
	22 日	職員互助会総会
	24 日	佐久圏域特別警報Ⅱ解除「佐久市感染警戒レベル 4」に引下げ (佐久市対策強化期間：解除)
	25 日	救急車・救急患者受入・外来診療・健康診断等通常業務に再開
	27 日	佐久 PCR センター支援(医師・看護師) ⑫PCR 検査実施「入院患者 20 名、職員等 62 名」
	28 日	⑫実施 PCR 検査結果：「全員：陰性」
2 月	3 日	令和 2 年度 運営審議会(望月総合支援センター会議室)
	6～20 日	エレベーター改修工事
	17 日	佐久 PCR センター支援(医師・看護師)
	19 日	中部ブロック看護部長会議
	20 日	長野県新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定
3 月	11 日	佐久 PCR センター支援(医師・看護師)
	15 日	NPO 法人 未来工房もちづき学習会 「川西赤十字病院の現状と今後の課題」(多津衛民芸館)
	17 日	職員・患者満足度調査結果報告会
	18 日	長野県看護協会理事会(松本市)
	26 日	救急車譲渡式(佐久広域連合消防本部より譲り受け)
	30 日	長野県連合婦人会北佐久支部学習会 「川西赤十字病院の現状と今後の課題」立科町老人福祉センター
	31 日	退職者辞令、大和院長退任式、離別式

主な出来事 (10 大ニュース)

- ① 経常収支で黒字決算
- ② COVID-19 院内陽性患者発生(入院患者・職員)
- ③ COVID-19 の影響で長期面会制限
- ④ 認知症チーム発足

- ⑤ 長野赤十字病院から臨床研修医 4 名地域医療研修に
- ⑥ 川西消防署と救急ホットライン導入
- ⑦ 柳田清二佐久市長、井上憲昭富士見高原病院名誉院長「職員学習会」講演
- ⑧ ノロウイルス感染症発生（5 名に留める）
- ⑨ 訪問看護増加率が全日赤病院最上位に
- ⑩ 週一回の眼科外来（荻野医師）スタート

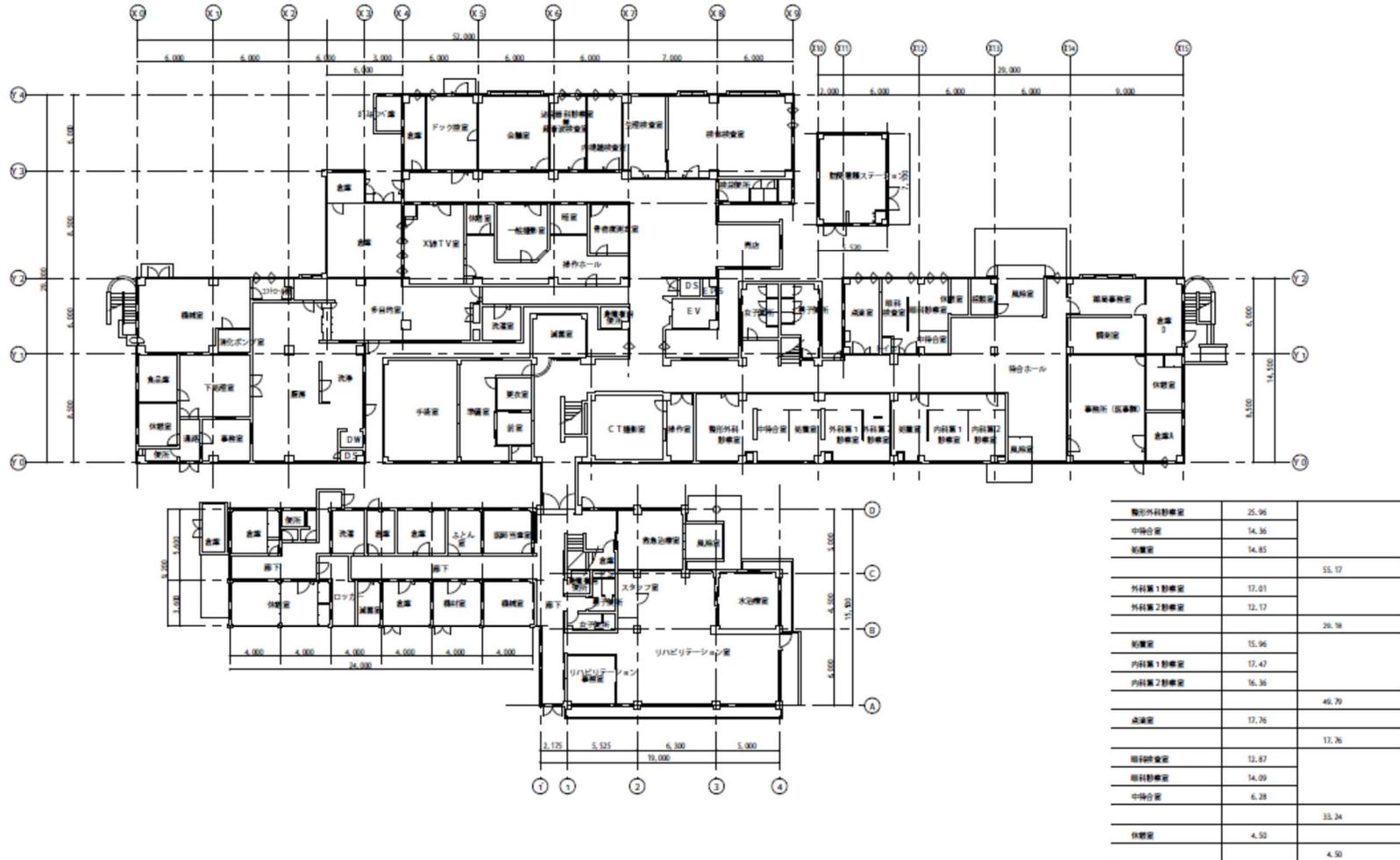


職員学習会（佐久市長講演）

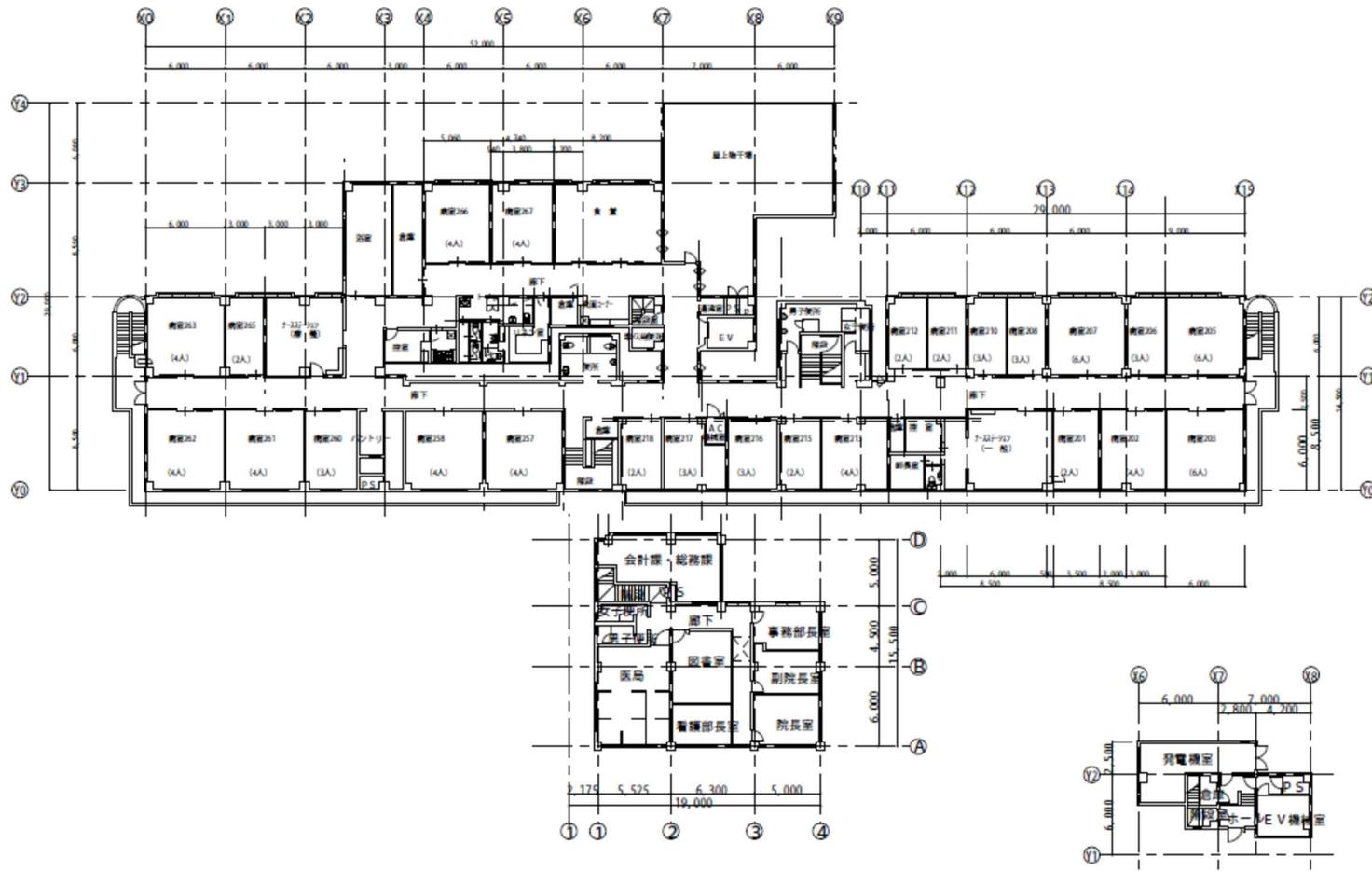


長野赤十字病院臨床研修医（地域研修）受け入れ

3. 建物配置図



備考	訂正	内容	TITLE	川西赤十字病院	SCALE	S=1:300	DATE	H. 27. 12. 11
			SUBTITLE	1 階 平面 図	1 級建築士事務所	高野建設事務所	DRWING NO.	
				(株)アート建築設計室	TEL (0267)23-8551	社名 02251号	INSPECT	
				長野県 小諸市 与良町 1-1-5	FAX (0267)23-8663	1級建築士 第163052号	DRWING	



2 階 平 面 図

P. H 平 面 図

備 考	訂 正	内 容	TITLE 川西赤十字病院	SCALE 1/1,300	DATE H. 27. 12. 11
			SUBTITLE 2 階 平 面 図	1 級建築士事務所 長野県庁舎建設 在久(株) B2251号	DRAWING NO
			(株) アート建築設計室 (有限) 長野県 小諸市 与良町 1-1-5	TEL (0267) 23-8551 FAX (0267) 23-8663	1 級建築士 第 163952号 小林 博博
					INSPECT DRAWING

5. 職種別職員数

令和3年3月31日現在

職種	正規	常勤 嘱託	パート	派遣	合計		
					男	女	
医師	6				6	5	1
薬剤師	1	1			2	1	1
管理栄養士	2				2	1	1
診療放射線技師	2				2	2	
臨床検査技師	2				2	1	1
理学療法士	5				5	3	2
作業療法士	4				4	3	1
言語聴覚士			1		1		1
看護師（外来・病棟）	36		2	1	39	1	38
准看護師	2	1			3		3
事務員	9	3	1		13	8	5
看護助手	8	2	2		12	1	11
包括	看護師	1	1		2		2
	社会福祉士	2			2		2
訪問看護	看護師	9			9		9
	介護支援専門員	1			1		1
	社会福祉士	1			1		1
合計	91	8	6	1	106	26	80

6. 特殊診療機能

人間ドック

7. 特殊診療等指定状況

保険医療機関（県）、労災保険指定病院（国）、覚せい剤施用機関（県）、
戦傷病者特別援護法指定病院（国）、生活保護法医療機関（県）、
公的医療機関指定病院（国）、結核予防法医療機関（県）、救急告示指定病院（県）

8. 施設基準の届出状況（令和2年4月現在）

急性期一般入院料4、療養病棟入院基本料1、
地域包括ケア病棟入院医療管理料1（看護職員配置加算あり）、救急医療管理加算、
診療録管理体制加算2、重症者等療養環境特別加算、療養病棟療養環境改善加算1、
医療安全対策加算2（医療安全対策地域連携加算2あり）、感染防止対策加算2、
後発医薬品使用体制加算1、データ提出加算、入院時食事療養費(I)、入院時生活療養(I)、
がん治療連携指導料、在宅患者訪問褥瘡管理指導料、薬剤管理指導料、
検体検査管理加算（Ⅱ）、CT撮影及びMRI撮影、脳血管リハビリテーション料（Ⅱ）、
運動器リハビリテーション料（Ⅲ）、呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）、
輸血管管理料2、適正使用体制加算、認知症ケア加算2、
入退院支援加算1（地域連携診療計画加算あり）
地域連携診療計画加算、小児外科外来診療料、
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）
に掲げる手術、在宅療養支援病院 別添1の「第14の2」の1の(3)、
在宅時医学総合管理料及び施設入所時等医学総合管理料、機能強化加算、
在宅がん医療総合診療料、せん妄ハイリスク患者ケア加算、
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅱ）

9. 各委員会名簿

各種委員会・ 部会・チーム	委員長 議長	幹事名	委員・メンバー					(順不同)
管理会議	大和 眞史	小林 雅弘 田中 優彦	米倉 宏明 水内 豊 眞田 哲也 (院長指名)	宮島 素子 牧野 勝則 関沢 亘 近藤 泰之	久米 典彦 東條 美恵 坂戸 基 磯貝 和也	宮澤 泉 翠川 郁代 依田 富士子 濱 英明	小林 雅弘 瀧澤 寿美子 田中 優彦	
業務連絡会議	小林 雅弘	濱 英明	大和 眞史 小泉 由香理 白石 真紀	森泉 ゆか 中村 美紀 磯貝 和也	倉島 潤子 滝沢 亜矢 武山 尚樹	三井 宏映 濱 英明 佐藤 瞳	輿石 恵 北澤 俊和	
薬事委員会	米倉 宏明	牧野 勝則	大和 眞史 牧野 勝則	宮島 素子 眞田 哲也	久米 典彦 依田 富士子	宮澤 泉	近藤 泰之	
院内感染対策委員会	水内 豊	小泉 由香理	大和 眞史 小泉 由香理	小林 雅弘 中村 美紀	森泉 ゆか 藤巻 千恵子	関沢 亘 小埜沢 章子	岩崎 恭子 濱 英明	
栄養委員会 (嚥下造影・口腔ケアチーム)	久米 典彦	武山 尚樹 (磯貝和也)	小林 雅弘 (大和眞史) (磯貝和也)	東條 美恵 (水内豊) (小松由美)	瀧澤 寿美子 (中村美紀) (加藤綾香)	倉島 潤子 (北澤俊和) (山口直子)	武山 尚樹 (三井宏映) (依田敦史)	
MRM委員会	米倉 宏明	東條 美恵 坂戸 基 輿石 恵 田中 優彦	宮澤 泉 瀧澤 寿美子 武山 尚樹	水内 豊 関沢 亘 田中 優彦	牧野 勝則 坂戸 基	東條 美恵 輿石 恵	翠川 郁代 磯貝 和也	
検査精度委員会	久米 典彦	関沢 亘	関沢 亘	岩崎 恭子	北澤 俊和			
輸血療法委員会	久米 典彦	倉島 潤子	倉島 潤子	秋和 好子				
診療情報管理 ・コーディング委員会 (※救急・外来運用委員会)	大和 眞史	(翠川郁代) 北澤 俊和	(宮島素子) (坂戸基)	(宮澤泉) (関沢亘)	東條 美恵 依田 富士子	翠川 郁代 森泉 ゆか	瀧澤 寿美子 北澤 俊和	
褥瘡対策チーム	宮澤 泉	輿石 恵	輿石 恵 島崎 茂樹	中村 美紀 武山 尚樹	森泉 ゆか	山口 直子	伊藤 直子	
安全衛生委員会	小林 雅弘	濱 英明	(産業医) 依田 敦史	宮島 素子 上野 和美	濱 英明 滝澤 春香	岩崎 恭子		
広報委員会	小林 雅弘	北澤 俊和 梅澤 達也	三井 宏映 梅澤 達也	池田 緑 島崎 茂樹	平林 美樹	南澤 礼佳	北澤 俊和	
在宅医療推進委員会	米倉 宏明	滝沢 亜矢	宮島 素子 滝沢 亜矢 武山 尚樹	久米 典彦 山口 直子	宮澤 泉 高橋 まり子	水内 豊 丸山 絵美子	翠川 郁代 田中 かおり	

各種委員会・ 部会・チーム	委員長 議長	幹事名	委員・メンバー					(順不同)
病床管理委員会	米倉 宏明	東條 美恵 滝沢 亜矢 依田 富士子	大和 眞史 水内 豊 西村 圭子	宮島 素子 東條 美恵 依田 敦史	久米 典彦 翠川 郁代 依田 富士子	宮澤 泉 滝澤 寿美子	近藤 泰之 滝沢 亜矢	
患者サービス委員会	水内 豊	坂戸 基 倉島 潤子	坂戸 基 雨宮 洋平	相良真由美 北澤 俊和	関 和子 倉島 潤子	土屋 みどり 藤巻 千恵子	成澤 正子	
購買委員会	小林 雅弘	眞田 哲也	大和 眞史 牧野 勝則 田中 優彦	米倉 宏明 東條 美恵	宮島 素子 翠川 郁代	宮澤 泉 滝澤 寿美子	水内 豊 眞田 哲也	
医療ガス安全管理委員会	久米 典彦	眞田 哲也	眞田 哲也 (外部委員)	岩崎 恭子 岡谷酸素	山口 喜久美	依田 葉都江		
将来構想委員会	大和 眞史	小林 雅弘 田中 優彦	米倉 宏明 翠川 郁代	小林 雅弘 瀧澤 寿美子	水内 豊 眞田 哲也	牧野 勝則 依田 富士子	東條 美恵 田中 優彦	
病院機能評価受審検討委員会	宮島 素子	関澤 亘 田中 優彦	小林 雅弘 三井 宏映	関澤 亘 田中 優彦	東條 美恵	小泉 由香理	中村 美紀	
電子カルテ導入検討委員会	水内 豊	依田 富士子 眞田 哲也	宮島 素子 興石 恵 北澤 俊和	宮澤 泉 倉島 潤子 濱 英明	眞田 哲也 森泉 ゆか	依田 富士子 瀧澤 寿美子	坂戸 基 滝沢 亜矢	
健診委員会	宮島 素子	北澤 俊和	米倉 宏明	倉島 潤子	三井 宏映	平林 奈美	北澤 俊和	
医の倫理委員会	大和 眞史	田中 優彦 濱 英明	(副委員長) 牧野 勝則 (院外委員)	米倉 宏明 田中 優彦 田村 泰夫	久米 典彦 濱 英明 工藤 絹子	小林 雅弘	水内 豊	
医の倫理委員会幹事会 (臨床倫理コンサルテーション)	米倉 宏明	田中 優彦 濱 英明	宮島 素子 田中 優彦	小林 雅弘 濱 英明	東條 美恵 磯貝 和也	翠川 郁代	滝澤 寿美子	
認知症チーム	宮島 素子	福島 亜実 北澤 俊和	相良 真由美 西村 圭子	中村 美紀 藤巻 千恵子	北澤 俊和	福島 亜実	武田 美絵	
年報編集委員会	小林 雅弘	依田 富士子 濱 英明	宮島 素子	水内 豊	眞田 哲也	藤巻 千恵子		

10. 委員会活動記録（設置目的・活動報告）

薬事委員会

（目的）

この委員会は、医薬品について、適正な採用及び整理並びに経済効果に関することを調査審議し、より良い薬事業務を推進することを目的とする。

（活動内容）

この委員会は、次の事項を調査・審議するものとする。

- (1) 新規医薬品の選択・採用に関すること
- (2) 同種・同薬薬効の統一化に関すること
- (3) 延滞薬品の活用に関すること
- (4) 薬品の使用管理に関すること
- (5) 使用薬剤の購入等に関すること
- (6) その他薬事に関すること
- (7) 後発医薬品の使用体制について

（活動報告）

開催日	主な議題
令和 2 年 6 月 2 日	新規採用薬、後発品への変更、その他薬事全般の検討
8 月 18 日	
12 月 15 日	
令和 3 年 3 月 2 日	

（令和 2 年度活動総括）

国の医療行政が後発薬の使用を推奨する中、ジェネリック薬メーカーにおける製造工程の不正などが発覚し行政処分が行われた。

その結果、医薬品の市場にも影響があり、当院の採用薬の中でも流通が滞る薬品が何剤か発生した。他社の薬品に移行して対応できたものもあったが、やむなく成分を変更する事態にもなり過去にない経験をした。

薬事委員会により院内採用薬には以下のような動きがあった。

新規採用薬 11 品目 後発薬へ移行 10 品目

採用中止薬 46 品目（製造中止、経過措置等を含む）

メーカー及び名称変更など 8 品目

院内感染対策委員会

(目的)

病原微生物により、患者・職員等が汚染され、院内感染を引起することを防止するための対策に関する事項を調査審議し、院長に建議する事を目的とする。

(活動内容)

< 審議内容 >

- (1) ICT ラウンドチェックに関する事
- (2) 病原微生物の調査に関する事
- (3) 被汚染者、被汚染物の調査及び感染を防止するための対策に関する事
- (4) その他、院内感染対策として必要な事

(活動報告)

開催日	主な議題
令和 2年 4月 8日	感染性廃棄物および使用後のオムツの取り扱いについて
5月 13日	新型コロナウイルスの対応について
6月 10日	PCR 検査について
7月 8日	新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題について
8月 12日	新型コロナウイルス感染防止対策における今後の体制作りについて
9月 9日	発熱者が来院した場合の外来対応の運用基準について
10月 14日	感染対策合同カンファレンスについて
11月 11日	4施設合同で行われた感染防止対策合同カンファレンスの報告
12月 23日	年末年始における外来の発熱者の対応について
令和 3年 1月 13日	新型コロナウイルスの対応について
2月 10日	新型コロナウイルス感染対策および対応について
3月 24日	新型コロナウイルス感染対策および対応についての振り返り

(院内感染対策に関する取り組み事項)

ICT ラウンド	週 1 回(うち 1 回は委員会時)院内をラウンドし、感染防止対策、スタッフへの指導を行った
院内感染防止マニュアルの改訂	院内感染予防策総論、標準予防策、感染経路別予防策、アウトブレイク時の対応について
サーベランス調査	JANIS 検査部門のサーベランスを令和 2 年 1 月から開始、UTI サーベランスも開始した
アウトブレイク時の対応	ICT ラウンド、院内感染防止マニュアルにもとづく対応
新型コロナウイルス対応	面会制限 対応フロー作成
標準予防策の徹底	アルコール [®] 使用量調査等

(職員研修の実施事項)

開催日	研修内容	講師
令和 2年 6月 18・29日	災害救護に関する感染症対策のポイント	看護部長 感染管理認定看護師 水内豊
11月 19日	迫りくるコロナウイルス感染症	看護部長 感染管理認定看護師 水内豊



コロナ患者受入病床



院内感染対策の実施

電子カルテ導入検討委員会

(目的)

この委員会は、電子カルテ導入について調査審議し、適正かつ円滑な運営を図る事を目的とする。

(活動報告)

開催日	主な議題
令和 2年 5月 22日	電子カルテ導入スケジュールの変更確認について 部門システム及び医療機器の接続希望確認について
6月 4日	部門ヒアリング (薬剤部・栄養課・リハビリ科)
6月 5日	部門ヒアリング (放射線科・一般病棟・療養病棟)
6月 9日	部門ヒアリング (検査科・健診・外来・訪問)
6月 11日	部門ヒアリング (医局・医事課)
6月 26日	部門ヒアリングの結果報告
7月 10日	電子カルテ視察 (社会医療法人恵仁会 くらさわ病院)
7月 22日	電子カルテ視察報告 業者選定の方向について 現段階でのシステム構成費用について
8月 21日	電子カルテ視察 (医療法人 雨宮病院)
8月 26日	電子カルテ視察報告 電子カルテ導入にかかる本社提案事項の紹介
9月 9日	電子カルテ導入にかかる本社 Web 会議 (看護部長・幹事 2名)
9月 24日	電子カルテ導入にかかる本社 Web 会議の報告 電子カルテ院内デモの実施について
10月 9日	電子カルテ視察 (佐久市立国保 浅間総合病院)
10月 22日	電子カルテ視察報告 電子カルテ院内デモの実施日程について
11月 13日	電子カルテ院内デモ (富士通 (株))
11月 18日	電子カルテ院内デモ ((株) 両備システムズ)
11月 27日	オンライン資格確認システム導入について 電子カルテ院内デモの評価結果報告 システム構成の複数案の検討
12月 18日	システム構成案に対する概算額の提示 導入時期の再考

栄養委員会

(目的)

病院給食に関する、改善及び向上、安全性の確保、患者満足度のアップ及び効率的な運営を図ることを目的とする。

(活動報告)

開催日	主な議題
令和 2年 11月 16日	経管栄養剤の新規採用について

給食検討会議にて以下の事について協議を行った。

開催日	主な議題
令和 2年 5月 11日	冷茶提供時期について 病棟冷蔵庫の食品チェックに関して
7月 6日	食事箋のチェックミスについて 自助具の管理に関して
9月 6日	厨房床改修工事について とろみ剤の変更について 新規経管栄養剤についての検討
11月 2日	栄養課・厨房職員への時間外連絡について
令和 3年 1月 18日	(新型コロナウイルス発生により会議中止)
3月 1日	ダムベータ工事について 新型コロナウイルス感染患者への食事提供対応について



一般社団法人 j ミルク様より牛乳の提供

MRM委員会

(目的)

このMRM委員会は、当院における医療事故発生の未然防止や、発生した事故の迅速な対応を図るため、職員が体験した人為的過誤等にかかわる自発報告（インシデントレポート）に基づき、それらの危険要因に対する評価・改善活動を通じて、事故発生の未然防止と、業務の安定化、適正化を図ることを目的とする。

(任務)

1. MRM委員会は、MRM委員長の総括の下に、以下の任務を行なう。日常業務におけるインシデント・アクシデントの発生内容を把握し、レポートの提出を当事者へ依頼する。
提出されたインシデント・アクシデントレポートを基に、当該部署における対応・対策を講じる。
2. インシデント・アクシデントレポートを、毎月15日まで（期限厳守！）にMRM委員会幹事（放射線技術課長）へ、USBに入力して提出する。
3. リスクマネージャーは、提出されたインシデント・アクシデントレポートの内容を、MRM委員会で報告・提言を行なう。
4. MRM委員会で承認された事項や、内容を職員へ報告し周知・徹底する。
5. ゼネラルリスクマネージャーは、管理会議で決定事項や検討事項を報告し、承認を得る。
6. 年間の統計については、まとめて本社へ報告する。（総務課長）

(職務)

1. ゼネラルリスクマネージャーは、リスクマネージャーを総括し、部署のインシデント・アクシデントレポートシステムの推進並びに進捗管理を行なう。
2. ゼネラルリスクマネージャーは、リスクマネージャーに対して、インシデント・アクシデントレポートの、円滑な運用に必要な教育訓練を行なう。
3. リスクマネージャーは、部署の職員に対し、インシデント・アクシデントレポートの積極的な提出を励行する。
4. リスクマネージャーは、部署の職員が、危機意識を高めるための教育訓練を行なう。

1. 委員会活動

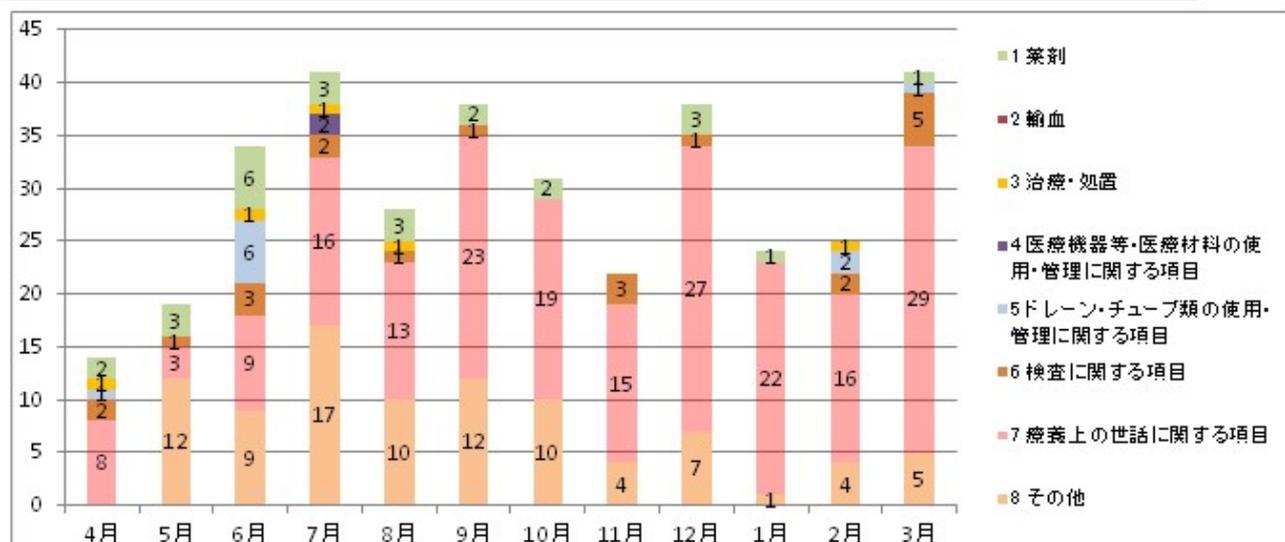
開催日	レポート提出件数	開催日	レポート提出件数
令和2年 4月27日	14 件	令和2年10月26日	31 件
5月25日	19	11月24日	22
6月22日	34	12月21日	38
7月27日	41	令和3年 1月18日	24
8月24日	28	2月22日	25
9月28日	38	3月22日	41

2. 令和2年度 インシデントレポート提出件数

令和2年度 インシデント事例発生報告状況

項目	インシデント事例内容別分類	件 数												参考		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R1	H30
1	薬剤	2	3	6	3	3	2	2		3	1		1	26	38	31
2	輸血															
3	治療・処置	1		1	1	1						1		5	17	7
4	医療機器等・医療材料の使用・管理に関する項目					2								2		
5	ドレーン・チューブ類の使用・管理に関する項目	1		6								2	1	10	9	11
6	検査に関する項目	2	1	3	2	1	1		3	1		2	5	21	2	4
7	療養上の世話に関する項目	8	3	9	16	13	23	19	15	27	22	16	29	200	55	91
8	その他		12	9	17	10	12	10	4	7	1	4	5	91	74	50
	計	14	19	34	41	28	38	31	22	38	24	25	41	355	195	194

	インシデント事例提出部署	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	看護部	14	19	29	38	26	35	29	22	38	23	16	38	289
2	他部署			5	3	2	3	2			1	9	3	25



検査精度委員会

(目的)

臨床検査は疾患の診断、治療方針の決定、治療効果の判定等現代の医療に必要不可欠の存在である。本委員会は臨床検査データの精度や信頼性の向上、及び臨床検査の問題点の解消のため、部門を越えて各部署から委員を選出し意見の交換や討議等を行う。委員会は基本年1回開催されるが、必要に応じて委員長は各委員を呼集し、随時委員会を実施することが出来る。

委員会での意見や討議内容は速やかに検査課に通達され、検査データの精度向上等に反映される。

(活動内容)

開催日	主な議題
令和3年3月18日	令和2年度報告

将来構想委員会

(目的)

川西赤十字病院が、将来に渡る質の高い医療の提供と経営の質の向上を目指し、そのために必要な具体的方策について、審議調整を図ることを目的とする。

(活動報告)

令和2年度実績なし



NPO 法人「未来工房もちづき」との懇談

輸血療法委員会

(目的)

輸血療法及び血液製剤の適正使用等に関する事項について検討することを目的とする。

(活動)

< 審議内容 >

1. 輸血療法に伴う副作用及び合併症対策に関すること
2. 輸血療法に関連する検査に関すること
3. 血液製剤の適正使用に関すること
4. 血液製剤の保管管理に関すること
5. その他輸血療法に関すること

(活動報告)

輸血管理料Ⅱの算定について 算定条件の途中経過報告を定期便として発信する。

年 6 回 偶数月の第 1 火曜日に実施

開催日	主な議題
令和 2 年 4 月 7 日	輸血担当医の交替あり。 3 月 31 日現在にて算定比率をオーバーしたことを報告。 4 月 13 日付 号外を医局あてに発信
6 月 2 日	算定比率オーバー中
8 月 4 日	同上
10 月 6 日	算定比率クリアできたことを報告
12 月 1 日	輸血後の感染症検査の徹底を呼びかける
令和 3 年 2 月 2 日	令和 2 年の年間使用比率結果の報告と 令和 3 年度の輸血管理料Ⅱの施設基準クリアについて

救急外来委員会・診療情報管理・コーディング委員会

(目的)

救急外来及び診療記録管理等に関する事項について審議し、より良い医療の提供を目的とする。

(活動報告)

開催日	主な議題
令和 2 年 4 月 15 日	当委員会の名簿について 診療情報管理委員会及びコーディング委員会の設置目的について 診療情報管理委員会の規程について 救急・外来運用委員会について DPC 調査票の書式変更について 説明書・同意書について
5 月 27 日	救急・外来運用委員会の規程について 救急の運用について オンライン診療について 「入院指示書」の変更について
6 月 24 日	ホットラインの運用について 外来の運用について 「入院指示書」の変更について
7 月 29 日	ホットラインの運用について 外来の運用について DPC 提出データの報告 査定状況の報告
8 月 26 日	ホットラインの運用について 新型コロナウイルス感染症に係る PCR 検査の情報提供について 一般処方加算に伴うカルテ記載有無について
9 月 30 日	ホットラインの運用について インフルエンザ予防接種の実施について 臨時外来の運用について DPC 提出データの報告
10 月 28 日	ホットラインの運用について インフルエンザ予防接種について 臨時外来の設置の現況について

開催日	主な議題
令和 2 年 11 月 25 日	救急カート内の診療材料について 臨時外来について 臨時外来でのカルテ記載について インフルエンザ予防接種について カルテの監査の点検方法について
12 月 23 日	年末年始の救急外来対応及び当番医の対応等について 小児外来について 救急の運用について カルテ記載の確認結果について
令和 3 年 1 月 27 日	救急の運用について 新型コロナワクチン接種体制について 自費の PCR 検査の実施について 電話再診の実施状況について 入院診療計画書の書式変更について
2 月 17 日	新型コロナワクチン接種体制について 自費の PCR 検査の実施について 電話再診の実施状況について カルテの監査について
3 月 24 日	救急車の不応需について 小児科の診療について DPC の提出について



佐久広域連合消防本部より救急車両の譲渡

褥瘡対策チーム

(目的)

患者及び利用者に対し良質なサービスを提供する取組のひとつとして褥瘡が発生しないように適切な看護及び介護に努めるとともに、その発生を防止するための体制を整備すること。

(活動報告)

1. 活動内容

毎月開催し、以下の報告・討議・決議をする。

- (1) 施設内における褥瘡及び合併する感染症の予防体制の確立に関する事
- (2) 褥瘡予防に関する情報の収集に関する事
- (3) 当院の患者及び利用者で報告のあった褥瘡事例の対応策に関する事
- (4) 褥瘡予防のためのマニュアル類の整備に関する事
- (5) 職員を対象にした褥瘡予防に関する研修の実施に関する事
- (6) 在宅褥瘡対策チームの褥瘡事例の対応策に関する事
- (7) その他、当院の褥瘡の発生予防のために必要な事項に関する事

2. 令和2年度活動実績 (毎月、褥瘡患者の回診、経過報告、検討)

構成員	専任医師、専任看護師、在宅褥瘡管理者、一般病棟看護師、療養病棟看護師、外来看護師、訪問看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士
開催日	主な議題
令和 2年 4月 3日	保湿について
5月 8日	勉強会について
6月 5日	床ずれ予防の体圧寝具の選択基準について
7月 3日	ポジショニングの実践
8月 2日	(通常回診)
9月 4日	褥瘡と栄養について
10月 2日	(通常回診)
11月 6日	褥瘡外用薬について
12月 4日	体位変換クッションについて
令和 3年 1月 8日	(回診なし)
2月 5日	褥瘡発生状況について
3月 5日	(通常回診)

3. 研修の状況

(1) 院外研修参加

令和 2年 11月 第17回日本褥瘡学会 関東甲信越地方会学術集会 (リモート参加)

医の倫理委員会及び医の倫理委員会幹事会

(目的)

この委員会は、川西赤十字病院にて行われる診療及びこれに関連する行為を適正に遂行するために必要な事項について審査等を行うことを目的とする。

(審議内容)

この委員会は、次の事項について審議をする。

- (1) 診療等についての医の倫理に関する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、委員長が特に必要と認める事項

(幹事会)

委員会に幹事会を置く

(審議内容)

幹事会において、次項に規定する事項について迅速審査に付することができる。

- (1) 課題内容の軽微な変更に関する審査
- (2) 診療等において、速やかな判断を求められた場合の審査
- (3) 共同研究であって、既に主たる機関施設において倫理委員会の審査を受け、その実施について適当である旨の意見を得ている場合の審査
- (4) 侵襲を伴わない、もしくは軽微な侵襲を伴う研究であって、介入を行わない課題に関する審査
- (5) 迅速検査の結果の報告を受けた委員長は、四役会議に付し審査をするものとする

(活動内容)

開催日	審議事項
平成 2 年 5 月 27 日	倫理委員会 ①「適切な意思決定支援に関する指針」 ②「新型コロナウイルス感染症に対するアビガン（一般名：ファビピラビルに係る観察研究への参加と同薬剤の使用）」
10 月 1 日	倫理委員会幹事会 「挿管後に家族の希望で DNAR となった症例における挿管チューブ交換の是非」

安全衛生委員会

(目的)

この委員会は、労働基準法、労働安全衛生法、その他の法令等に定めるところにより、職員の安全と健康を確保することについて、調査・審議することを目的とする。

(審議内容)

この委員会は、次の事項について調査・審議するものとする。

- (1) 職員の危険を防止するための対策に関すること
- (2) 職員の健康障害を防止するための対策に関すること
- (3) 労働災害の原因及び再発防止対策に関すること
- (4) その他院長の指定する事項に関すること

(活動報告)

1. 委員会活動

開催日	主な議題
平成 2 年 4 月 20 日	年間計画について 新型コロナウイルス感染拡大を防止するためのチェックについて
5 月 18 日	ストレスチェック（昨年度）実施について 時間外勤務状況について
6 月 11 日	新型コロナウイルス対策による「出勤前健康チェック」について 職場における「新型コロナウイルス感染拡大を防止するためのチェック」リストについて（自己チェックの実施結果）
7 月 20 日	ノー残業デーの実施および把握について 有給休暇の取得推進活動について
8 月 24 日	職場巡視の実施および結果について
9 月 25 日	職員健診について／ストレスチェックの実施について
10 月 28 日	ストレスチェック（Web チェック）実施について
11 月 27 日	時間外勤務状況について 職員駐車場および外灯について
12 月 29 日	ストレスチェック実施状況報告について
令和 3 年 1 月 25 日	コロナ患者受入に際して コロナ禍の職員のカウンセリングの実施について
2 月 22 日	相談（カウンセリング）の実施について 有給休暇の取得、時間外勤務状況について
(3 月度 書面報告)	時間外勤務状況について

2. 活動内容

職員健診について

- ・ 定期健康診断／夜勤等従事職員／ストレスチェックの実施・結果について

年次有給休暇の取得状況について

時間外勤務状況について

コロナ禍における職員の相談・カウンセリングの実施について



コロナ禍の院内（1階：外来）



新型コロナウイルス検査の様子



コロナ患者受入病床（ナースステーション）
スタッフによる描画

広報委員会

(目的)

広報委員会は、川西赤十字病院のことを患者様他各方面の方に、より深く理解していただく為にニュースを3カ月に1回発行し、又、ホームページについても2カ月に1回検討、見直しを実施することを目的とする。

(審議内容)

この委員会で、病院ニュース及びホームページに載せるニュース等を議論・検討し、より良い記事を載せることとする。

(活動報告)

令和2年度 掲載記事一覧

ページ数	令和2年度 (120号)
1	赤十字の使命と成り立ち
2	令和元年度当院へ寄せられた義援金について 川西赤十字病院運営審議会の開催
3	在宅療養支援病院について 健診（オプション検査）のお知らせ
4	接遇自己チェックリストの実施結果について リハビリテーション科より寄附の報告
5	新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ 人事往来
6	人事往来 医事担当表

ページ数	令和2年度 (121号)
1	ツイッター・オンライン診療始めました
2	熱中症予防について（過去記事より）
3	虫刺され、動物に噛まれたら（過去記事より）
4	台風シーズンを前に、地域の広域避難所案内
5	
6	新型コロナウイルス感染症から身を守る方法
7	リハビリ畑始めました 患者サービス委員会活動
8	人事往来・広告掲載・広告募集について

ページ数	令和2年度 (122号)
1	臨時外来の開設について
2	インフルエンザ Q&A 及び予防接種のご案内
3	避難所での感染対策
4	立科町 防災マップ
5	高校生1日看護体験 リハビリテーション科の活動案内 (畑収穫編)
6	川西赤十字病院・川西消防署合同救急法講習会の案内 医師担当表

ページ数	令和2年度 (123号)
1	新年挨拶 (大和院長)
2	佐久市長・富士見高原病院名誉院長を講師に迎えた 職員学習会について
3	新型コロナウイルス感染症について
4	浅科地区防災マップ
5	
6	発熱に関する受診案内 地域医療構想について
7	川西消防署との合同救急法講習会の実施について 患者サービス委員会の活動報告について
8	蓼科高校様より令和元年台風19号災害義援金の募集について 医師担当表



蓼科ロータリークラブ様のボランティアへの参加
(芦田城址の周辺環境整備/竹の伐採)



蓼科高校様より頂いた義援金箱

在宅医療推進委員会

(目的)

在宅医療の質を上げ、川西地区（旧望月町、旧浅科村、立科町、旧北御牧村）に貢献していくため在宅医療推進関係部署（他職種）との連携を基に、以下の活動内容について協議し、実行していくことを目的とする。

(活動内容)

- ・在宅医療推進に向けて情報収集及び、各部署への助言と支援

(活動報告) 各部署の活動状況及び、課題等を報告する。(12回開催)

開催日	主な議題
令和 2年 4月 28日	在宅医療における新型コロナウイルスの臨時的対応について
5月 26日	訪問診療について
6月 23日	在宅看取りについて
7月 28日	新型コロナウイルス感染症に伴う訪問看護ステーション対応について
8月 25日	新型コロナウイルス感染症に伴う訪問看護ステーション利用者への対応について
9月 10日	外来処方について
10月 8日	訪問看護利用者の外来処方について
11月 12日	訪問看護ステーションへの情報提供について
12月 10日	在宅医療における新型コロナウイルスの対応について CardiLght ESP-350 12誘導記録取り扱いについて
令和 3年 1月 14日	在宅医療における新型コロナウイルスの対応について
2月 4日	在宅療養支援病院について
3月 11日	在宅療養支援病院について

- ・在宅療養支援病院については、令和元年12月に在宅療養支援病院届け出を行った。患者・家族への説明と同意は訪問診療に同行している訪問看護師の協力を得た。令和2年1月の訪問診療より在宅時医学総合管理料の算定を開始。

病床管理委員会

(目的)

この委員会は、地域の医療ニーズに伴い包括病床を運営するに当たり、当病床への適応の判定と優先順位を決定するものとする。

(活動報告)

この委員会は、前条の目的を達成するために以下の事項について検討を行った。

- 1) 毎週1回委員会の開催
- 2) 一般病棟から退院できる状態かの有無
- 3) 包括入床において以下の基準が達成できるよう検討した。
 - (1) 在宅からの入院患者延べ数が病床数の15%以上を維持する事
 - (2) 在宅からの緊急患者受け入れ数を3か月で6人以上にする事
 - (3) 在宅復帰率を直近6か月で70%以上にする事
 - (4) 看護必要度を直近3か月で14%以上にする事
 - (5) 在宅患者訪問診療を直近3か月で30回以上にする事
 - (6) 包括病床稼働率は95%以上を目標にする事

令和2年度の包括利用実績

月	在宅からの 入院延べ数 (約140人)	在宅からの 緊急患者 受入数 (3か月で6人)	在宅復帰率 (直近6か月 で70%以上)	看護必要度 (直近3か月 で14%以上)	訪問診療 回数 (直近3か月で 30回以上)	病床稼働率 (95%以上)
4月	154	7	78.4%	14.8	35	90.0%
5月	210	12	78.0%	21.4	38	93.3%
6月	162	12	75.9%	33.3	40	100.0%
7月	139	10	77.2%	21.2	37	100.0%
8月	204	11	81.1%	24.7	39	100.0%
9月	165	13	78.2%	28.0	33	100.0%
10月	155	14	76.6%	31.5	31	96.7%
11月	153	9	80.3%	33.0	30	93.3%
12月	171	9	79.8%	33.9	30	100.0%
1月	101	7	85.2%	28.0	22	73.3%
2月	45	8	72.2%	37.9	24	86.7%
3月	133	8	73.6%	43.6	25	100.0%

※1月に新型コロナウイルス感染症院内発症となり、入退院及び外来診療の停止となったこと等により、以降の病床運営・訪問診療等に多大な影響が発生。

患者サービス委員会

(目的)

この委員会は、患者に選ばれる病院・受診してよかった病院、安心して来院でき地域に貢献できる病院づくりを推進するための審議・検討をする。

(審議内容)

この委員会は、次の事項を審議・検討するものとする。

- (1) 外来患者サービス
- (2) 入院患者サービス
- (3) 家族等の患者サービス
- (4) 職員の患者サービスに対する意識改革
- (5) その他病院におけるサービス全般に関すること

(活動報告)

- 6月 玄関前花の植え込み
- 7月～8月 職員による病院周りの草取り
- 11月 院内すす払い・窓ふき
- 12月～1月 患者及び職員満足度調査
- 3月 患者及び職員満足度調査概況報告会

- 通年
- ・患者向けパンフレット（インフルエンザ等）や掲示板を季節に応じて変える
 - ・デイサービス利用者の作品の展示
 - ・広報誌に活動内容を掲載



玄関前花の植込み



病院周りの草取り

購買委員会

(目的)

この委員会は院長の諮問を受け次の事項について具体的立案をなし、購買業務の適正な運営を図るものとする。

- ・医療器械器具、備品等の物品（以下備品等という）の購買計画に関すること
- ・その他物品等の購買に関し必要と認めること

(活動報告)

- 7月 令和2年度購入機器3件について、仕様再考の審議を行った。
- 11月 令和3年度購入申請13件53,523千円について審議を行い、全件（内2件13,726千円は保留）を採決した。

令和3年度購入申請一覧

更新希望機器	参考価格 (千円)	審議結果
除細動器（一般病棟）	2,063	採 決
汎用人工呼吸器	2,090	採 決
医用画像管理（PACS）サーバー	4,398	保 留
医療用ベッド 10式	3,022	採 決
電子内視鏡システム	16,744	採 決
セントラルモニタ用送信機	841	採 決
ベッドサイドモニタ（外来）	1,041	採 決
嚥下内視鏡	2,768	採 決
検査情報システム	9,328	保 留
医療施設特別会計統一システム	4,108	採 決
固定資産システム（2式）	1,749	採 決
公用車	4,371	採 決
訪問看護車	1,000	採 決
合 計	53,523	

医療ガス安全管理委員会

(目的)

この委員会は、診療の用に供するガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素等〔以下「医療ガス」という〕）の設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することについて調査審議し、院長に建議することを目的とする。

(活動報告)

医療法の規定に基づき、1日1回の日常点検及び、年4回の定期点検を実施。

健診委員会

(目的)

患者さまのニーズに沿った健診を行い、地域住民の健康生活保持・増進に貢献する。

(活動報告)

開催日	主な議題
令和 2年 7月 21日	1. 健診実施時のカルテ記載について 2. 健康診断の検査項目について 3. 1日で実施している健診(受付)件数の目安について 4. 健診担当医が休みとなった場合の健診受付の取り扱いについて 5. 個人向け健康診断(人間ドック等)の実施件数の増加に向けて
9月 8日	1. 前回会議の確認事項について 2. 佐久市の単独がん検診の判定記入について 3. 胃生検結果の説明について 4. 健診担当医の結果票確認時の留意事項について
9月 29日	1. ハートフルケアたてしな職員健診実施要綱について
令和 3年 2月 15日	1. 骨密度測定のコスト改定について 2. 新型コロナワクチン予防接種について(高齢者向け) 3. 次年度の健診対応等について 4. 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う、健診部門の影響について

病院機能評価検討委員会

(目的)

病院機能評価については、質の高い医療の効果的提供、医療事故防止対策強化、また、職員の意識改革、経営改善のため、病院機能評価受審についての具体的な検討を行う。

(審議内容)

目的を達成するため、以下の検討を行い、病院長に答申する。

(1) 自己評価調査票に基づく問題

- ・ 人的問題
- ・ 構造的問題
- ・ 各部署業務的問題

(2) 受審費用

(3) その他、病院機能評価受審について、必要な検討を行う。

(活動報告)

開催日	主な議題
令和 2 年 5 月 15 日	病院機能評価受審に向けて (スケジュール)
6 月 3 日	自己評価の報告について
11 月 16 日	自己評価 (自己点検) の評価について

認知症ケアチーム

(目的)

認知症患者の診療について、安全かつ適切な情報を提供することを目的とする。

(活動報告)

1. 毎月確認事項

- (1) 認知症ケア加算及びせん妄ハイリスクケア加算の算定状況について
- (2) 事例発表 (各部署事例報告、認知症についての知識の共有を図る)

2. 外来での啓蒙活動について (パンフレット等の検討)

3. 職員学習会の実施 (9 月)

4. 認知症ケアチーム委員会の規程の整備について

5. 認知症ケア加算 1 の算定に向けての取り組み

11. 施設工事・医療機器整備の状況

(1) 施設営繕工事

工 事 名
北側住宅屋根（2棟）修繕工事
書類庫（プレハブ倉庫）屋根修繕工事
訪問看護ステーション屋根修繕工事
厨房床補修工事
エレベーター改修工事
小貨物専用昇降機（ダムウェーター）改修工事

(2) 設備機械

品 名	数 量
次亜塩素酸空間除菌脱臭機	3
臨時外来エアコン	1
感染症対策用折り畳み式ブース	2
感染症対策テント	1
簡易陰圧排気 HEPA フィルターユニット	1
点滴処置台	1
非接触温度センサー	1
電動ベッド	10
感染予防スクリーン	2
アンプルキャビネット	1
ブラストチラー	1

(3) 車両

品 名	数 量
訪問看護車更新	1
救急車更新	1

(4) 令和2年度医療機器整備状況

品名	規格型式	数量
セントラルモニタ	日本光電工業 WEP-5204 他	2
光干渉断層計	ニデック RS-3000 Lite	1
昇降式ストレッチャー	日進医療器 NBST-211FS-DB	1
AED	フクダ電子 ハートスタート FRx+e	2
携帯型心電計	フクダ電子 ESP-350	2
骨塩量測定装置	ホロジック Horizon Ci型 他	1
嚥下内視鏡	HOYA FNL-10RBS 他	1
汎用人工呼吸器	フィリップス トリロジー02 プラス	1



臨時外来（新型コロナ対応）改修工事



臨時外来（診察室）の様子

Ⅲ 部門別概要

1. 診療部門

内科

I スタッフ

部長 宮島 素子

副部長 近藤 泰之

医師 大和 眞史 米倉 宏明 宮澤 泉 久米 典彦 田村 泰夫

非常勤医師 3名

II 診療状況

糖尿病、高血圧、心臓病、慢性閉鎖性肺疾患などを中心に、主に薬物療法や栄養指導などを通じて治療・進展防止・合併症予防などを行っている。

高齢化とともに、いくつもの病気を持つ方も増え、また、整形外科や眼科などとの併用も多く、内服薬の調整や副作用チェックも大切な役目となっている。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
8:30～11:30	○	○	○	○	○	-
14:00～16:00	-	-	○	○	-	-

III 対象疾患

一般的な内科疾患、循環器内科系疾患、消化器内科系疾患、呼吸器内科系疾患など

IV 今後の課題と目標

地域への貢献、例えば訪問診療等の充実を図っていきたい。

外科

I スタッフ

非常勤医師 2 名

II 診療状況

消化器外科一般を対象に診療している。

毎月第 1 週、金曜日は月 1 回のみ診療を行っている。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
8:30～11:30	-	○	-	-	○	-
14:00～16:00	-	-	-	-	-	-

III 対象疾患

一般的な外科疾患

IV 今後の課題と目標

川西地域では数少ない外科のひとつである。

患者様の病態に合った診療を心掛けている。

整形外科・リウマチ科

I スタッフ

医師 大内 悦雄

非常勤医師 4 名

II 診療状況

骨折や捻挫などの外傷、頸から腰の脊椎疾患、膝や股関節疾患、手の外科、骨粗鬆症、関節リウマチ、など幅広く診療を実施している。

小手術に加えて、各種ブロック注射、装具療法、リハビリ、生活指導を組み合わせた治療を行っている。

診療は、月～金曜日に実施している。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
8:30～11:30	○	○	○	○	○	-
14:00～16:00	-	-	-	-	-	-

III 対象疾患

打撲、捻挫、骨折、骨粗しょう症、間接リウマチ、痛風など

IV 今後の課題と目標

患者様ひとりひとりの痛みに寄り添った治療を行い、早期の回復、予防を目指している。

眼科

I スタッフ

非常勤医師 1 名

II 診療状況

結膜炎、角膜炎、白内障、緑内障、飛蚊症、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性症などの診療を行っている。

白内障の手術、糖尿病網膜症のレーザー、加齢黄斑変性症の治療に関しては、近隣の病院と連携して紹介実施している。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
8:30～11:30	-	-	-	-	-	-
14:00～16:00	-	-	-	○	-	-

III 対象疾患

眼科一般

IV 今後の課題と目標

遠方へ通院できない高齢者が、安心して健診や治療できるかかりつけ医を目指したい。

泌尿器科

I スタッフ

非常勤医師 2 名

II 診療状況

月に 1 回だけの診療のため、慢性的な頻尿、前立腺肥大症、過活動膀胱などの疾患を主に診察を行っている。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
8:30～11:30	-	-	-	-	-	-
14:00～16:00	-	-	-	-	○	-

III 対象疾患

前立腺肥大症、過活動膀胱、頻尿、切迫性尿失禁など

IV 今後の課題と目標

望月地域では唯一の泌尿器科である。

泌尿器系症状を患っている地域の患者様を支えていきたい。

健診部門

I スタッフ

医師 米倉 宏明 宮澤 泉 宮島 素子 久米 典彦 近藤 泰之

非常勤医師 1名

看護師 1名

事務員 1名

II 診療状況

人間ドック（日帰り）、生活習慣病予防検診、特定健診、佐久市個別健診、事業所健診、婦人科検診（子宮頸がん検診）を実施。

オプション検査として、CT 検査（頭部・胸部・腹部）、PSA 検査、TSH 検査、血液型判断、喀痰細胞診、腹部超音波、骨密度測定、動脈硬化度測定、ピロリ菌検査、子宮頸がん検査を行っている。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
8:30～	○	○	○	○	○	-

III 今後の課題と目標

受診された方がより健康的な生活を送れるよう、生活習慣の見直しや改善について、健診結果を基にアドバイスを行っていく。今後、検査項目等の充実も図っていきたい。

救急部門

I スタッフ

医師 大和 眞史 米倉 宏明 宮澤 泉 久米 典彦 宮島 素子 近藤 泰之

非常勤医師（日当直）

看護師 1名

II 診療状況

一次救急指定病院として、終日患者の受け入れを行っている。

夜間については、各科の医師が常駐していないため、場合によっては応需が難しい状況にある。

受入実績は統計に掲載。9月より、医師・看護師・事務・救急隊と同時通話可能な携帯電話（ボイスミーティング）を運用開始。救急患者の受け入れについて、4者で相談できる体制を整えた。

III 今後の課題と目標

引続き不応需の減少を目指す。

2. 診療支援部門

放射線技術課

I 部門紹介

放射線科は「無駄な待ち時間削減」をモットーに業務を行っている。

診療放射線技師は、放射線障害防止法、医療法施行規則、電離放射線障害防止規則などの法令下で一般撮影装置（1室2管球）、16列マルチスライスCT（1台）、X線TV（嚥下造影ユニット付き）装置（1台）、全身用骨密度測定装置（1台）、ポータブル撮影装置（1台）、オペ室Cアーム（1台）、超音波検査装置（1台）を用いて診断補助を行い、診断しやすい画像を提供するとともに、安全で精度の高い放射線照射業務を行っている。

II 業務内容と近年の動向

1. X線検査：X線を使い胸腹部、四肢骨などの撮影検査を行う。また、透視下各種検査、骨折整復、CV挿入、嚥下造影(VF)検査を行っている。
2. CT検査：通常外来をはじめ、近隣クリニックと連携し検査を行っている。また、検査時間が大幅に短縮されたため、検査がよりスムーズに行えるようになった。
3. 骨密度測定：骨密度検査装置が令和2年9月に更新され、前腕部での測定から腰椎、股関節で測定を行う機種となり、より正確な検査が行えるようになった。

III 業務統計

(単位：件)

	令和元年度 延べ検査数	令和2年度 延べ検査数	増減
一般撮影	3,585	3,699	114
透視(TV)検査	132	133	1
CT	658	741	83
骨密度	149	162	13
超音波	278	355	77

IV スタッフ紹介

診療放射線技師：2名

リハビリテーション技術課

I 部門紹介

リハビリテーション技術課は、基本動作の回復等を目的とする理学療法、応用動作能力・社会適応能力の回復等を目的とする作業療法、言語聴覚能力・摂食嚥下能力の回復等を目的とする言語聴覚療法により構成され、いずれも実用的な日常生活における諸活動の実現を目的としている。佐久地域においては、千曲川より西側の旧浅科村、旧望月町、旧北御牧村、立科町地域の入院リハビリテーション実施施設として役割を担っている。特徴としては、医療・介護のケアミックス型の病院機能と医療保険下・介護保険下での訪問リハビリテーションの提供を行っている。入院から在宅生活まで途切れないリハビリテーションの提供を目指して邁進している。

II 業務内容

各分野において、以下のリハビリテーションを提供している。

1. 疾患別リハビリテーション : 運動器リハビリテーション、呼吸器リハビリテーション、
廃用症候群リハビリテーション、
脳血管疾患等リハビリテーション、
(心大血管リハビリテーション施設基準取得)
2. 療養型介護リハビリテーション : 理学療法、作業療法
3. 訪問リハビリテーション : 医療保険下、介護保険下

※それぞれの分野において、専門的な知識・技術を活用し、リハビリテーション介入を行っている。

III 業務統計

1. 疾患別取得単位数 (単位：単位)

		脳血管	運動器	呼吸器	廃用	包括
令和 2年	入院	3,196	3,012	1,295	1,858	10,695
	外来	88	1,472	0	0	0

2. 訪問リハビリテーション提供数

		訪問看護 I-5	訪問看護 (医療区分)	訪問 リハビリテーション	在宅リハビリテーション 指導管理
令和 元年	件	1,533	182	—	1,946
	単位	3,145	—	—	947
令和 2年	件	1,333	253	943	1,825
	単位	2,438	—	1,886	52

IV スタッフ紹介

医師：1名(リハビリテーション科部長)

理学療法士：5名 作業療法士：4名 言語聴覚士：1名

検査技術課

I 部門紹介

現在の医療では正しい診断や治療には「正確な検査データ」の評価が必要不可欠である。当課は、リアルタイムにその検査データを臨床側に報告すべく業務に当たっている。

II 業務内容

検体検査 患者様の血液や尿などの検体を検査する部署である。

- ①生化学検査 … γ GTP や AST、ALT などの肝機能、尿素窒素やクレアチニンなどの腎機能、血糖や脂質、尿酸などの代謝機能等の検査を行う。
- ②血液検査 … 血液に含まれる白血球や赤血球の数、ヘモグロビン量等の計測を行う。また、血液が固まる機能を調べる「血液凝固検査」も血液検査に含まれる。
- ③免疫学的検査 … 血液型や交差適合試験等の輸血検査、肝炎ウイルス、梅毒等やインフルエンザ抗原やマイコプラズマ抗原等の感染症検査等。
- ④一般検査 … 尿検査や便潜血、便中ピロリ菌、髄液検査等。

生理検査 心電図や脳波のように「機械」を使って直接患者様の様子を調べる部署である。他に動脈の詰り具合を見る ABI や動脈の硬さを見る CAVY、神経の伝導速度を計測する誘発筋電図も生理検査に含まれる。

III 業務統計

実績(令和2年度)

	令和2年度 延べ検査数
生化学検査	73,614
血液学的検査	6,932
免疫学的検査	3,254
一般検査	4,992
生理検査	1,415

IV スタッフ紹介

臨床検査技師：2名

栄養課

I 部門紹介

栄養課では、食を通して病気の回復やQOLの向上につながるよう、患者の病態に応じた食事の提供と栄養管理・栄養指導を行っている。

II 業務内容

1 年間の取り組み

- (1) 行事食 21回/年
- (2) 厨房床改修工事

2 加算状況

- (1) 特別食加算 対象比率 約24.4%
- (2) 栄養指導加算
- (3) 経口維持加算

III 業務統計

1 給食数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
1日平均給食数	68	67	69	68	67	67	65	61	61	56	60	65	64.5

2 栄養指導状況

(1) ドック指導実績数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
ドック指導数	13	8	12	18	6	5	10	10	3	0	2	2	89

(2) 入院・外来栄養指導実績数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
高血圧症	1								1			1	3
心臓病	2	2	2	2	2	1	2	3	1		3	2	22
糖尿病	5	6	5	6	5	5	4	3	2		5	7	58
腎臓病		1	2	2	1		1	2	2		1		14
脂質異常症			1		1		1				1		4
低栄養	3	5	4	6	3	2	5	4	3	2	4	3	44
合計	11	14	14	16	12	8	13	12	12	4	15	14	145

IV スタッフ紹介

管理栄養士：2名

薬剤部（調剤課）

I 部門紹介

当薬剤部では安全で適切な薬物療法を提供するため、薬の専門職として病院が最善の医療を行えるよう貢献している。

患者さんにとって待ち望んだ新薬が開発される一方で副作用や既存の薬剤との相互作用など、未知の事象も起こりうることを念頭に置いて職務を遂行している。

病気の治療に薬は欠かせませんが薬剤師のみで治療の完結はできず、他の医療スタッフにも薬品情報提供を行い安全で効果的な治療提供を心がけている。

II 業務内容

調剤業務	医師よりオーダーされた処方せんに従い錠剤、散剤、外用剤などの調剤を行う。その際、用法、用量は適切か、相互作用（他の薬との飲み合わせ）は問題ないかをチェックし、疑問がある場合は処方医に確認を取る。
注射薬調剤	注射せんにより点滴、注射の準備を行います。注射薬は投与後の作用が速いため、より安全に投与する必要がある。投与方法、投与速度、溶解液との相性などチェックを行う。
薬品管理業務	院内の採用薬品は約 800 品目あり投薬用薬品、注射用薬品、その他の薬品（造影剤、消毒薬など）に分類される。医業に支障のないように適切な貯法、適切な在庫設定を行う。
服薬指導業務	入院中の患者さんのベッドサイドに伺い、使用されている薬の効果、副作用、保管上の注意事項など情報提供するとともに、患者さんの疑問や不安に答える。
医薬品情報管理	院内の採用薬品ばかりでなく全ての医薬品に関する情報を製薬会社、書籍、インターネット等から集積し、必要に応じて病院内へ発信をし、医師をはじめとする他の医療スタッフの質問にも対応している。
持参薬鑑別業務	新規に入院される患者さんに現在の服用薬を持参して頂き鑑別する。特に他施設にかかっていた患者さんの服用状況などは重要な情報となる。

III 業務統計

令和 2 年度実績

(単位：枚)

	枚数
入院処方箋	4,232
注射箋	6,485
院外処方箋	12,391

(単位：件)

	件数
薬剤管理指導	508
持参薬鑑別	300

IV スタッフ紹介

薬剤師：2名

3. 看護部門

看護部理念・活動方針

理念

私たちは高い倫理観に基づいた信頼される看護・介護を提供し、人々の苦痛の軽減と回復力を高められるよう支援します。

活動方針

- ・ 尊厳と意思を尊重し、その人らしい生活ができるよう支援します。
- ・ 安全・安楽を基本に、安心される看護を提供します。
- ・ 経済性を考慮した生産性の高い看護を提供します。
- ・ 地域との連携を推進し、地域に根ざした看護を行います。
- ・ 看護専門職として自己研鑽し看護の質向上に努めます。



高校生一日看護体験

令和2年度看護部目標

I. 安全で質の高い看護を提供する。

1. 倫理的行動を重視する
2. 医療安全・感染対策に取り組む
3. 高齢者・認知症における看護の質向上に向け取り組む

II. 良いコミュニケーションが取れる職場づくりを行う。

1. 一人ひとりが業務改善に取り組む
2. なんでも言い合える職場風土づくりをする
3. 働き方改革、タスクシェア・タスクシフティングを踏まえ業務改善を進め、時間外勤務を減らす

III. 病院の経営にそった経営の参画をする。

1. 円滑な病床管理をする
2. 時間を大切に、業務を行う
3. 在宅看護の充実を図る

IV. 自己のキャリア開発に取り組む。

1. スキルの向上
2. 学会などに積極的に参加する
3. 新キャリア開発ラダーに基づき認定者を増進する
4. 赤十字活動を推進する

外来

I スタッフ

看護師長 1 名 看護係長 1 名 看護師 4 名 准看護師 1 名 看護助手 1 名

II 診療状況

外来部門は、内科、整形外科は月曜から金曜日まで、眼科は週 1 回、外科は月 2 回、泌尿器科は予約制で月 1 回、婦人科は月 1 回の診療を実施している。

また、月に 2 回春日診療、週に 1 回特別養護老人ホーム「結いの家」の訪問診療を実施している。

III 取り組み

1. 患者のフェイスシート(基本情報)を共有し、作成しスタッフ間で患者の情報を共有し継続看護を行う。
2. 訪問看護と連携し、訪問診療に同行する。

令和 2 年外来部門の目標は、「情報の共有を図り継続看護を行う」であった。当外来は、スタッフの人数や勤務状況から固定した担当看護師が各科に携わることが難しく、患者情報を共有することが課題であった。昨年より外来内で得た情報を記録に残し継続した看護が実施できるようにフェイスシートを作成し活用している。さらに、退院前カンファレンスに出席し、患者情報を共有し退院後の在宅生活がスムーズに行われるように連携を図っている。また、4 月より訪問診療は、訪問看護師から外来看護師が同行することとなり、月に 1 回の外来・訪問看護のカンファレンスを実施している。

緊急・救急対応として、ホットラインを導入し 9/11～3 点での同時電話対応が可能となり消防署との連携を強化し、不応需は減少傾向である。

COVID-19 対応として外来再来間隔の調整、電話処方、on-line 診療を整備した。発熱トリアージ体制、臨時外来を運用し、発熱者、疑似症患者に対して抗原定性検査・PCR 検査を施行した。

IV 今後の課題

1. 退院前カンファレンスに出席し、医師をはじめ他施設、及び患者家族に関わる多職種との連携を密にし、継続的に外来看護を提供する。
2. 在宅療養支援病院Ⅲ→Ⅰへの取得を目指す。

一般病棟

I スタッフ

看護師長 1 名 看護係長 1 名 看護師 22 名 看護助手 3 名

II 病床

(1) 一般病床：19 床

(2) 包括ケア病床：25 床

III 診療状況

内科・整形外科の混合病棟で、一般病床と地域包括ケア病床の併設病棟である。急性期病院からの後方支援病院として、回復期の患者に対するリハビリテーションや生活支援、高齢期医療を中心とした慢性期疾患（心不全、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患等、脳血管疾患後遺症、骨粗鬆症、圧迫骨折、その他骨折後の後遺症）の薬物療法、栄養管理、嚥下訓練、リハビリテーションなど、又は、終末期患者に対する緩和ケアを行っている。入院初期から、在宅部門や地域の支援事業所等と連携し、積極的な退院支援を行い、地域包括ケア病床や療養病棟への移行も考慮しながら、在宅復帰と継続した医療の提供を目指している。当院の理念である、地域住民と共に生きている喜びを分かち合える医療に向けて、チームが一つになり、入院中から退院後も、患者や家族が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活が送れるよう、特に今年度は、入院時、退院後訪問を実施した。病棟看護師が、入院前後で在宅に訪問することで、入院中から在宅退院を意識した退院支援を行うことができ、また、退院後に訪問することで、タイムリーな指導や支援につながり、医療依存度の高い患者や終末期の患者であっても、継続した医療が提供され、患者家族の安心と在宅生活の継続に繋がったことを実感した。今後も、当該地域における地域包括ケアシステムの医療を担う病院として更に地域医療に貢献していく。

・認定看護師

看護師 1 名：令和元年認知症看護師認定看護師教育課程修了し、認定看護師試験合格。現在、認知症患者にかかる加算やマニュアルの整備、認知症チームとしてラウンドを行い、スタッフへの助言・相談対応などを行っている。

・特定行為研修終了看護師

看護師 1 名：令和 2 年 4 月に日本赤十字社の特定行為研修（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連）を修了。今後は、実践に向けた体制を構築していく。

IV 今後の課題と目標

- ・退院後の在宅看護の充実と継続した看護を提供できるよう、さらに多職種連携を強化。
- ・WLBの推進に向けて業務改善を実施し時間外削減に取り組む。
- ・スタッフ一人一人が自己開発のために目標を持ち、キャリア開発ラダーについての理解を深め認定者を増進する。

療養病棟

I スタッフ

看護師長 1 名 看護係長 1 名 看護師 7 名 准看護師 1 名 看護助手 8 名

II 病床

- (1) 医療療養：25 床
- (2) 介護療養：8 床

III 診療状況

療養病棟は、高齢者で急性期の治療が終え症状が安定されているが、医療依存度が高く寝たきりで介助量が多く、施設入所が困難な患者が入院されている。また、在宅での介護が難しく施設入所を待っている患者など、長期療養が必要な方がほとんどである。患者の多くは、意思の疎通が困難で、本人の意向の確認が取れない為、ご家族とコミュニケーションをとり安心して頂けるような関わりを大切にしている。

看護師・理学療法士・管理栄養士が参加した患者カンファレンスを週 2 回実施して、情報共有を図っている。当病棟の特徴として、看護師と看護補助者で患者を受け持つ担当制を導入。個別性のある看護ケアに繋げている。

患者サービスの一環として、以下の事に取り組んでいる。

1. 行事係を中心に毎週、レクリエーションを実施。参加が難しい患者には、アロマを炊き手足のマッサージを行い、リラックスして頂けるように努めている。
2. 療養新聞の掲載・毎月季節を彩った掲示板の装飾・誕生日カードのプレゼントをしている。

IV 今後の課題と取り組み

1. 課題

- ・患者層の変化（緩和ケア・終末期）による柔軟な対応
- ・介護療養病床の廃止に伴う、病床運用の見直し
- ・看護師・介護補助者のキャリアアップ
- ・看護師・介護補助者の人材育成

2. 取り組み

- (1) 医師も含めた、多職種カンファレンスの充実
- (2) 在宅への退院に向けた支援の充実
 - ・退院調整部門（地域連携室・訪問看護・ケアマネージャー）との連携強化
- (3) 倫理意識の向上
 - ・4 分割法を使用した倫理事例検討
 - ・デスカンファレンスを行い、患者と家族への関わりや看護問題・計画は適切であったかを振り返る。
- (4) エビデンスに基づいた看護・介護
 - ・院内外での勉強会、研修会への積極的な参加
 - ・資格取得（ケアマネージャー、認定等）
 - ・ラダーの取得（看護師）



病室での看護（一般病棟）



ナースステーション（一般病棟）



長野赤十字病院からの看護業務支援



諏訪赤十字病院からの看護業務支援

4. 医療社会事業部門

地域医療連携室

I 業務内容

1. 地域医療連携

- ・紹介患者の受け入れ、予約及び連絡業務調整（前方連携）に関すること
- ・関係行政機関との連絡調整に関すること
- ・他施設との看看連携に関すること
- ・院内部門との連携や調整に関すること
- ・地域連携クリティカルパス（脳卒中・胃がん）に関すること

2. 退院支援

- ・退院準備、在宅療養、施設入所、転院（後方連携）に関すること
- ・社会保障、社会福祉制度に関する相談
- ・虐待等に関する相談

3. 業務実績

- ・紹介率：36.4% 逆紹介率：35.3%
- ・相談援助調整内容別件数

（単位：件）

相談内容	件数
家族関係	11
在宅介護・地域生活関係	280
療養生活関係	47
経済的問題関係	7
虐待・暴力・人権関係	0
転院関係	13
他施設利用関係	63
他福祉関係法利用関係	11
その他	15
合計	447

訪問看護ステーション

I 業務内容

- ・在宅療養者の療養上の世話（医療保険、介護保険、生活保護等による）
- ・訪問診療、往診の補助
- ・介護相談・指導、ケアカンファレンスの実施
- ・退院指導（退院・退所前の施設等への訪問）
- ・開業医との定期的なカンファレンス実施（3施設）
- ・ハートフルケアたてしな、ジェイエー長野会との定期的なカンファレンスに参加
- ・浅科・望月地域包括連絡会議への参加
- ・浅科・望月地域包括ケア会議への参加
- ・東信地区訪問看護連絡協議会への参加
- ・病院との連携による継続看護の実施（退院後訪問の同行）
- ・利用者様へのデスカンファレンスやグリーフケアの実施
- ・佐久大学地域看護学の実習生受け入れ

II 業務実績

利用件数

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護保険	106	112	113	116	114	115	112	113	111	97	94	100	1,303
医療保険	27	23	26	27	29	28	32	31	35	28	33	35	354
合計	133	135	139	143	143	143	144	144	146	125	127	135	1,657

訪問回数

（単位：回）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護保険	494	436	525	561	480	512	534	480	486	400	398	492	5,798
医療保険	143	114	154	151	147	145	165	153	157	144	180	219	1,872
合計	637	550	679	712	627	657	699	633	643	544	578	711	7,670

訪問看取り数

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
看取り数	0	0	0	0	2	1	1	1	1	0	0	2	8

III 研修活動

- ・地域看護学会発表
- ・部署内学習会
- ・デスカンファレンス
- ・事例検討会

居宅介護支援事業所

I 業務体制

管理者 1 名、主任介護支援専門員 1 名、介護支援専門員 2 名体制で、居宅介護支援計画作成・管理業務を行う。

II 業務実績

通常事業の実施地域は、佐久市、立科町、東御市。利用者の希望により小諸市での実施実績もある。令和 2 年度の市町村別利用者内訳は、佐久市 87%、立科町 12%、その他 1 % である。特定事業所加算Ⅲを取得しており、支援困難ケースの受け入れもしている。浅科望月地域包括支援センターからの委託で、要支援利用者と市町村事業対象者の支援も行っている。病院併設の居宅介護支援事業所であり、入院中に介護保険申請を行った新規利用者の受け入れを積極的に行っている。

令和 2 年度のケアプラン作成件数の要介護度別内訳

(単位：件)

	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
ケアプラン 作成件数	79	348	340	205	163	124

III 研修活動

- ・佐久市居宅介護支援事業所連絡協議会研修
- ・佐久圏域介護保険事業者連絡協議会研修
- ・浅科望月地域包括連絡会議研修
- ・立科町介護事業所連携会議研修
- ・部署内学習会、カンファレンス



大澤酒造様よりコロナ関連防護具の寄贈

浅科・望月地域包括支援センター

I 業務内容

- ・介護や高齢者福祉などについての様々な相談対応を行う「総合相談支援業務」
- ・成年後見制度の活用促進、高齢者虐待の対応、消費者被害の防止等を行う「権利擁護業務」
- ・様々な職種や機関と連携し、地域の介護支援専門員に対しても相談・援助を行う「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」
- ・自立した生活が出来るように支援する「介護予防ケアマネジメント業務」
- ・地域の支え合い、活動する場づくりを支援する

II 業務統計（令和2年4月～令和3年3月）

① 相談件数集 * ②介護予防ケアマネジメント業務以外の相談について記入 (単位：件)

相談内容		相談方法	来所	電話	訪問	その他
総合相談 支援業務	地域における様々な関係者の ネットワークの構築		32	434	39	83
	高齢者の実態把握		3	8	99	0
	総合相談		122	1,467	585	695
権利擁護業務	成年後見制度の活用		2	4	0	1
	老人福祉施設等への措置		0	0	0	1
	虐待への対応		5	41	18	41
	困難事例への対応		1	14	4	14
	消費者被害の防止		0	0	0	0
包括的・継続的 ケアマネジメント 支援業務	包括的・継続的なケア体制の構築		8	106	28	3
	介護支援専門員のネットワークの活用		16	111	5	7
	介護支援専門員に対する 日常的個別指導・相談		5	15	2	0
	介護支援専門員が抱える支援 困難事例等への指導・助言		0	17	6	7
その他			0	0	0	0
合 計			194	2,217	786	852
うち新規（再掲）			24	95	7	58
ケースカンファレンス実施回数（再掲）			266			
地域ケア会議実施回数（再掲）			7			

② 介護予防ケアマネジメント業務

		介護予防ケアマネジメント件数			
		プラン数			
		新規	継続	委託（再掲）	
新規	継続				
介護予防サービス計画 （介護予防給付）	要支援 1・2	43	1,482	20	457
介護予防ケアマネジメント（総合事業）		31	1,219	0	52
	住民主体サービス （再掲）	0			
サービス担当者会議実施回数		予防給付	89	総合事業	37

③ その他の活動

佐久市地域包括支援センター連絡会議	10回	浅科・望月地区民生委員・支所との懇談会	3回
支所担当者との連絡会	12回	地区サロン	14回
浅科・望月連絡会	7回	グループホームあゆみ運営推進会議	4回
佐久市居宅介護支援事業者連絡会	6回	小規模多機能居宅介護あさしな 運営推進会議	1回
佐久市介護保険適正化事業	1回	生活支援コーディネーター会議	13回
浅科・望月地域包括ケア協議会	1回	望月悠玄福祉会評議員会議	3回
高齢者・障害者 権利擁護ミーティング	1回	地域密着型通所介護運営推進会議 3か所	4回
佐久圏域研修会	7回		

5. 事務部門

総務課

I スタッフ

課長補佐 1 名 係長 1 名 主事 1 名 常勤嘱託職員 1 名 非常勤職員 1 名

II 当課の目標とキーワード

人事・労務・庶務・人材育成業務をはじめ、関係機関との折衝・広報・義援金・災害救護等の業務を担当する。また、病院における包括的・将来的課題の解決を目指す。

III 業務内容

- ・職員の人事、給与その他労務管理に関する事
- ・職員の賞罰に関する事
- ・儀式及び弔慰に関する事
- ・文書の管理に関する事
- ・情報の総括的管理に関する事
- ・重要事項の記録に関する事
- ・諸報告及び諸届に関する事
- ・車両の運行に関する事
- ・損害保険制度等の処理に関する事
- ・院内外の環境美化に関する事
- ・業務の総合企画に関する事
- ・ボランティアの受入れ等奉仕活動の指導、協力及び連絡調整に関する事
- ・その他、他課に属しないこと
- ・職員の服務、研修及び福利厚生に関する事
- ・職員の出張に関する事
- ・内規等の制定及び改廃に関する事
- ・業務の連絡調整に関する事
- ・宿直及び日直に関する事
- ・会議及び集会に関する事
- ・一般文書用公印の管理に関する事
- ・構内取締りに関する事
- ・鍵の監守に関する事
- ・病院の運営計画に関する事
- ・災害時等における医療援護の計画及び実施に関する事

IV 業務状況

- ①常勤医師 6 名体制へ
- ②令和 2 年 6 月より長野赤十字病院の研修医受け入れ
- ③蓼科ロータリークラブへ参入
- ④新型コロナ臨時外来の設置
- ⑤新型コロナウイルス感染防止のため、検温所の設置
- ⑥令和 2 年 12 月 28 日～令和 3 年 2 月 20 日 新型コロナウイルス感染者の対応
- ⑦令和 3 年 3 月救急車更新（佐久市より譲渡）
- ⑧新型コロナウイルスに関する助成金の申請
- ⑨職員駐車場の補修工事
- ⑩NPO 法人未来工房もちづきとの懇談会

V 今後の課題

- ①病院建て替えに関する検討
- ②地域医療構想調整会議を含めた、病院の在り方の再検討
- ③人材育成、職員への病院ニーズに合った資格取得や講習受講の促進

会計課

I スタッフ

課長 1 名 主事 1 名 常勤嘱託職員 1 名

II 当課の目標とキーワード

- ・固定資産にかかる投資費用の削減
- ・経費（水道光熱費）の削減
- ・診療材料の円滑な調達

III 業務内容

- ・予算及び決算に関すること
- ・債権管理に関すること
- ・不動産及び物品の管理に関すること
- ・現金及び有価証券の出納及び保管に関すること
- ・出納用公印の管理に関すること
- ・営繕に関すること
- ・収入および支出に関すること
- ・資産の管理及び運営に関すること
- ・車両の管理に関すること
- ・租税に関すること
- ・売買、貸借、請負その他の契約に関すること

IV 業務状況

年々増加する固定資産にかかる投資費用及び医業費用について、削減に努めた。結果は次の通り

- ・投資費用：対予算比 10.1%・3,634 千円の増加。（新型コロナウイルス感染拡大に伴う投資物の増加）
- ・水道光熱費：電気料金の対前年比 3.9%・300 千円の削減。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う診療材料の深刻な供給不足に対し、診療体制及び感染予防対策に影響が出ないよう努めた。

医事課

I スタッフ

課長 1 名 係長 1 名 常勤嘱託職員 1 名 委託職員 7 名

II 当課の目標とキーワード

- ・令和 2 年度 診療報酬改定後の影響調査を行ない、収入増加に繋がる提案を行う
- ・健診サービス向上による収益の増加
- ・未収金の発生防止対策及び回収の強化
- ・診療報酬請求の請求漏れ防止及び査定・返戻削減の強化

III 業務内容

- ・医事統計データの分析と病院経営への参画
- ・施設基準の届出と分析
- ・各種健診診断・予防接種の計画・運営

- ・長期未収金の管理、回収業務等
- ・査定・返戻分析及びこれに関わる勉強会の開催
- ・診療情報管理に関する業務
- ・その他、医事に関すること

IV 業務状況

- ①令和2年度の診療報酬改定後の影響調査を行った。せん妄ハイリスク患者ケア加算の新規取得、認知症認定看護師の養成による認知症ケア加算2への基準格上げ、呼吸器リハビリテーションの従事経験者の確保による呼吸器リハビリテーション料1の基準格上げにより、前年度に比べ、約67,000千円の収入増に繋がる結果を得られた。
- ②健診部門は、令和3年1月の新型コロナウイルス感染症の流行により健診が全面中止となり、受診者にはご不便を掛ける事態となったが、日程変更の連絡等丁寧な対応を心掛け、大きなトラブルを起こす事無く、受診者の理解を得ることができた。
- ③過去3年分の長期未納者に対し、電話催促・文書郵送を年5回実施した。訪問集金も1回実施した。継続的な取り組みにより、年度当初より、長期未収金は約110万円減少した。
- ④査定率0.10%、返戻件数月8件を目標に、毎月委託業者職員と勉強会を実施した。結果、年間の査定率は0.09%と目標を達成し、返戻件数も月7件で目標件数に達した。

※ 次年度からの新型コロナワクチン予防接種の実施に向け、ワーキンググループを立ち上げることとなった。当課での役割が増える事となるので、準備を進めて行くこととしたい。

V 今後の課題

- ・地域医療構想を踏まえた当院の今後の病床機能の在り方についての検討・経営への参画。
- ・新型コロナワクチン予防接種開始に向けた取り組み。



検温所の開設（院外での検温の実施）



感染対策の実施

IV 統計

1 患者統計

1) 月別患者数統計

(1) 延べ外来患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
内科	731	595	716	789	722	795	788	681	761	1050	739	838	9,205	767
外科	39	37	27	36	35	31	39	31	37	17	28	30	387	32
整形外科	582	483	555	607	532	589	565	537	554	333	428	575	6,340	528
眼科	47	31	33	42	46	36	36	43	42	17	37	40	450	38
泌尿器科	7	11	13	6	4	6	8	5	5	1	7	11	84	7
全科合計	1,406	1,157	1,344	1,480	1,339	1,457	1,436	1,297	1,399	1,418	1,239	1,494	16,466	1,372
診療日数	21	17	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	242	
平均	67.0	68.1	61.1	70.5	67.0	72.9	65.3	68.3	70.0	74.6	68.8	65.0	68.0	

(2) 延べ入院患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
一般	445	472	483	447	446	460	467	437	399	480	401	491	5,428	452
地域包括	903	935	911	940	933	908	923	906	951	784	663	927	10,684	890
医療療養	648	659	578	661	651	597	683	613	611	517	604	645	7,467	622
介護療養	196	186	211	220	227	189	217	204	214	155	192	217	2,428	202
全病床合計	2,192	2,252	2,183	2,268	2,257	2,154	2,290	2,160	2,175	1,936	1,860	2,280	26,007	2,167
診療日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
平均	73.1	72.6	72.8	73.2	72.8	71.8	73.9	72.0	70.2	62.5	66.4	73.5	71.3	

(3) 病床稼働率

(単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
一般	78.1	80.1	84.7	75.9	75.7	80.7	79.3	76.7	67.7	61.9	71.6	83.4	75.9	76.3
地域包括	100.3	100.5	101.2	101.1	100.3	100.9	99.2	100.7	102.3	101.2	87.7	99.7	99.8	99.6
医療療養	86.4	85.0	77.1	85.3	84.0	79.6	88.1	81.7	78.8	87.8	93.8	83.2	84.1	84.2
介護療養	81.7	75.0	87.9	88.7	91.5	78.8	87.5	85.0	86.3	62.5	85.7	87.5	83.2	83.2
全病床合計	89.1	88.6	88.7	89.2	88.8	87.6	90.1	87.8	85.6	81.1	85.2	89.7	87.7	87.6

(4) 平均在院日数

(単位：日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
一般	16.1	19.7	14.7	16.4	12.3	16.1	13.0	15.0	14.2	29.4	15.4	19.7	16.8
地域包括	33.1	43.5	51.1	46.0	38.0	32.6	36.0	40.2	36.3	81.6	29.3	52.1	43.3
医療療養	646.0	261.6	287.0	329.0	649.0	595.0	1,364.0	406.7	1,222.0	1,032.0	400.7	643.0	653.0
介護療養	390.0	0.0	105.0	438.0	150.0	125.3	0.0	134.7	106.5	60.4	192.0	0.0	141.8
全病床合計	40.8	43.5	32.6	39.1	31.8	32.5	32.9	36.4	35.2	55.4	42.4	45.5	39.0

(5) 紹介率・逆紹介率

(単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
紹介率	35.4	31.6	44.3	28.3	30.4	37.2	49.4	45.6	40.9	17.4	51.9	43.0	38.0
逆紹介率	41.8	27.8	36.4	35.9	33.3	31.9	45.6	45.6	25.0	13.0	59.3	39.5	36.3

(6) 新外来患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
内科	27	33	37	41	58	43	35	27	52	82	23	39	497	41.4
外科	1	0	0	0	3	0	3	1	2	0	0	2	12	1.0
整形外科	35	40	47	45	33	48	38	48	25	9	28	38	434	36.2
眼科	16	6	3	6	8	3	3	3	9	1	2	7	67	5.6
泌尿器科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0.2
全科合計	79	79	88	92	102	94	79	79	88	92	54	86	1,012	84.3
診療日数	21	17	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	242	
平均	3.8	4.6	4.0	4.4	5.1	4.7	3.6	4.2	4.4	4.8	3.0	3.7	4.2	

(7) 新入院患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
一般	23	22	36	25	33	28	33	28	25	16	21	26	316	26.3
地域包括	5	4	3	3	6	7	7	3	4	0	4	6	52	4.3
医療療養	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
介護療養	0	0	3	0	1	2	0	1	3	1	2	0	13	1.1
全病床合計	28	26	42	29	40	37	40	32	32	17	27	32	382	31.8
診療日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
平均	0.9	0.8	1.4	0.9	1.3	1.2	1.3	1.1	1.0	0.5	1.0	1.0	1.0	

2) 疾病別・診療科別・病名数 (ICD 大分類)

	総数		構成比%	内科	整形
総数	計	372	100.0	349	23
	男	175	47.0	169	6
	女	197	53.0	180	17
構成比 (%)	計	100.0		93.8	6.2
	男	100.0		96.6	3.4
	女	100.0		91.4	8.6
I 感染症及び寄生虫症	計	8	2.2	8	—
	男	6	3.4	6	—
	女	2	1.0	2	—
II 新生物<腫瘍>	計	11	3.0	11	—
	男	6	3.4	6	—
	女	5	2.5	5	—
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	10	2.7	10	—
	男	2	1.1	2	—
	女	8	4.1	8	—
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	42	11.3	42	—
	男	13	7.4	13	—
	女	29	14.7	29	—
V 精神及び行動の障害	計	2	0.5	2	—
	男	—	—	—	—
	女	2	1.0	2	—
VI 神経系の疾患	計	12	3.2	10	2
	男	9	5.1	7	2
	女	3	1.5	3	—
VII 眼及び付属器の疾患	計	—	—	—	—
	男	—	—	—	—
	女	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	2	0.5	2	—
	男	1	0.6	1	—
	女	1	0.5	1	—
IX 循環器系の疾患	計	59	15.9	59	—
	男	31	17.7	31	—
	女	28	14.2	28	—

		総数	構成比%	内科	整形
X 呼吸器系の疾患	計	50	13.4	50	—
	男	36	20.6	36	—
	女	14	7.1	14	—
X I 消化器系の疾患	計	15	4.0	15	—
	男	5	2.9	5	—
	女	10	5.1	10	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	計	7	1.9	5	2
	男	2	1.1	2	—
	女	5	2.5	3	2
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	90	24.2	83	7
	男	39	22.3	38	1
	女	51	25.9	45	6
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	計	28	7.5	27	1
	男	11	6.3	11	—
	女	17	8.6	16	1
X V 妊娠、分娩及び産じょく<褥>	計	—	—	—	—
	男	—	—	—	—
	女	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	計	—	—	—	—
	男	—	—	—	—
	女	—	—	—	—
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	—	—	—	—
	男	—	—	—	—
	女	—	—	—	—
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	—	—	—	—
	男	—	—	—	—
	女	—	—	—	—
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	33	8.9	22	11
	男	13	7.4	10	3
	女	20	10.2	12	8
X X 傷病及び死亡の外因	計	—	—	—	—
	男	—	—	—	—
	女	—	—	—	—

		総数	構成比%	内科	整形
XX I	健康状態に影響をおよぼす要因及び 保健サービスの利用	計	—	—	—
		男	—	—	—
		女	—	—	—
XX II	特殊目的用コード	計	1	0.3	1
		男	—	—	—
		女	1	0.5	1



川西消防署との合同救急法講習会



浅科中学校による職場体験

3) 過去3年間の居住地別患者数（佐久市・立科町・東御市）

平成30年度

	佐久市	立科町	東御市			その他 地区	合計
			東部	北御牧	計		
入院	15,988	5,418	64	682	746	1,698	23,850
割合(%)	67.0	22.7	0.3	2.9	3.1	7.1	100.0
外来	13,898	3,760	87	151	238	820	18,716
割合(%)	74.3	20.1	0.5	0.8	1.3	4.4	100.0
合計	29,886	9,178	151	833	984	2,518	42,566
割合(%)	70.2	21.6	0.4	2.0	2.3	5.9	100.0

令和元年度

	佐久市	立科町	東御市			その他 地区	合計
			東部	北御牧	計		
入院	17,030	6,031	522	101	623	1,903	25,587
割合(%)	66.6	23.6	2.0	0.4	2.4	7.4	100.0
外来	13,110	3,752	140	80	220	877	17,959
割合(%)	73.0	20.9	0.8	0.4	1.2	4.9	100.0
合計	30,140	9,783	662	181	843	2,780	43,546
割合(%)	69.2	22.5	1.5	0.4	1.9	6.4	100.0

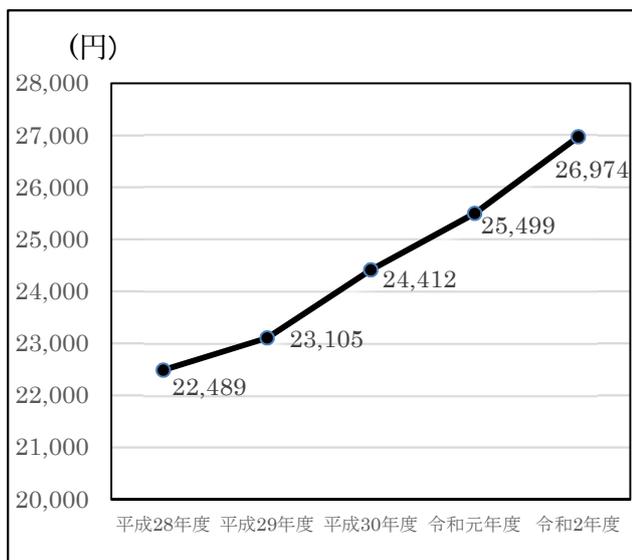
令和2年度

	佐久市	立科町	東御市			その他 地区	合計
			東部	北御牧	計		
入院	18,626	4,516	0	365	365	2,500	26,007
割合(%)	71.6	17.4	0.0	1.4	1.4	9.6	100.0
外来	12,335	2,969	72	79	151	1,011	16,466
割合(%)	74.9	18.0	0.4	0.5	0.9	6.1	100.0
合計	30,961	7,485	72	444	516	3,511	42,473
割合(%)	72.9	17.6	0.2	1.0	1.2	8.3	100.0

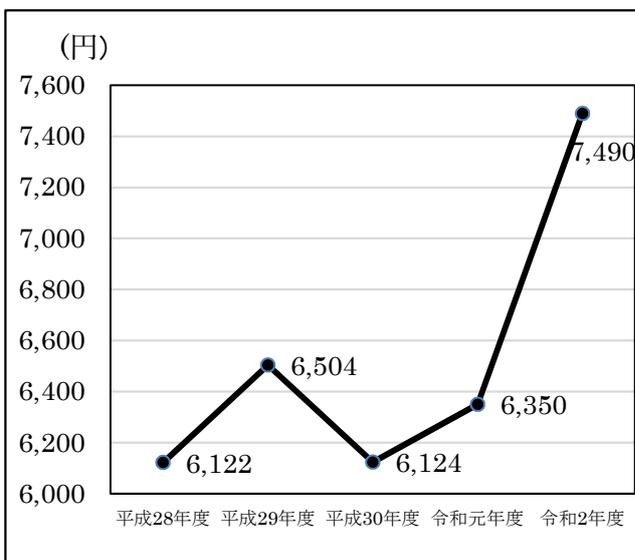
4) 稼働統計

ア) 年度別比較

●入院診療 1 人 1 日当り



●外来診療 1 人 1 日当り

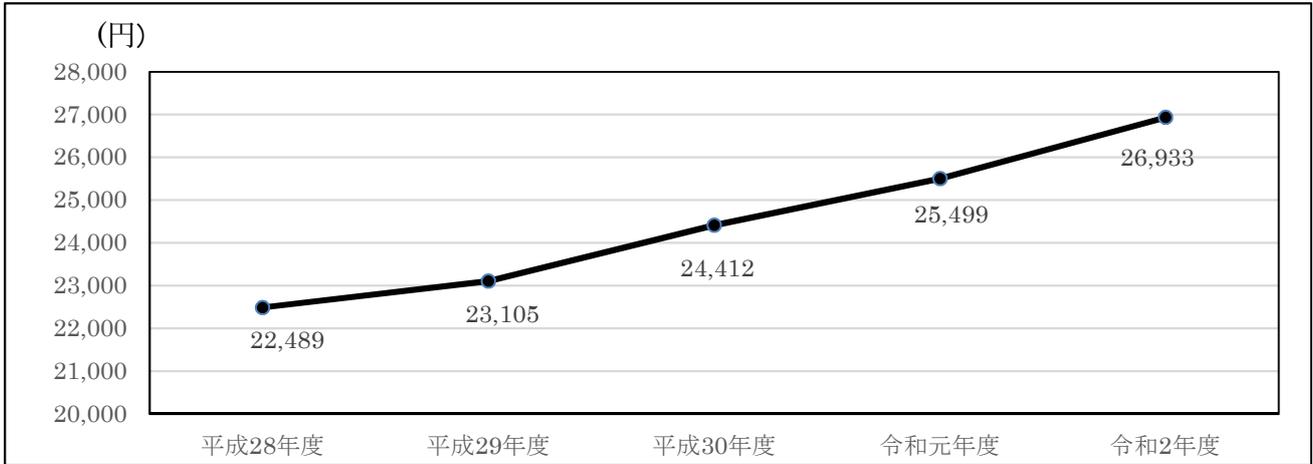


●年度別比較表

		平成 28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度	2 年度
入院	延べ患者数	26,189	26,155	23,850	25,587	26,007
	1日平均	71.8	71.7	65.3	69.9	71.3
	病床稼働率	86.4	86.3	78.7	85.3	87.7
	平均在院日数	57.4	58.4	62.0	61.3	62.9
	1人1日当り入院診療費	22,489	23,105	24,412	25,499	26,974
外来	延患者数	20,290	19,575	18,716	17,959	16,466
	1日平均	75.1	72.5	69.8	70.7	68.0
	平均通院日数	12.9	13.0	12.7	15.0	16.3
	1人1日当り外来診療費	6,122	6,504	6,124	6,350	7,490

イ 診療科別入院診療費

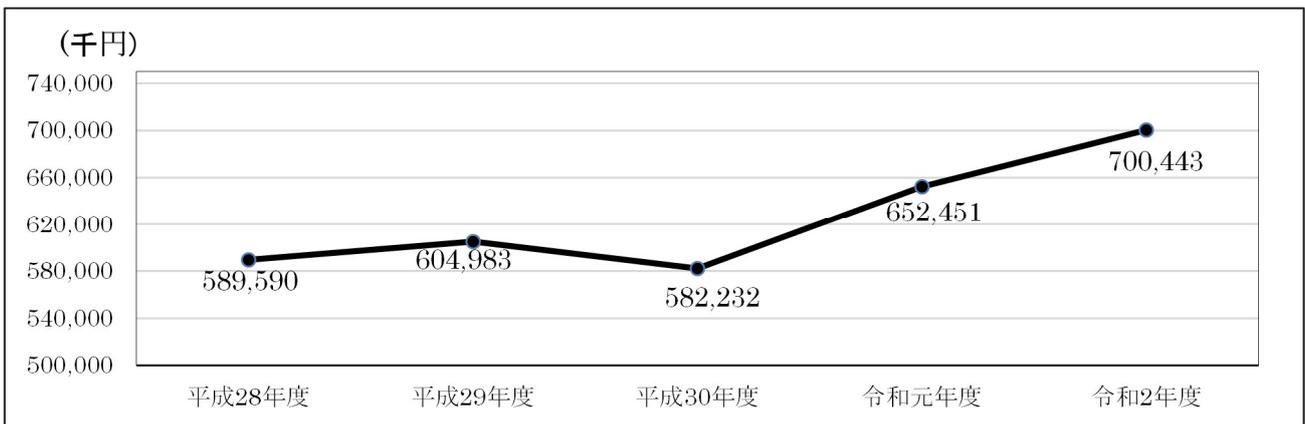
●1人1日当り入院稼働額の推移



●1人1日当り入院稼働額 (円)

	平成 28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度	2 年度
内科	22,074	22,898	24,060	25,183	27,045
外科	-	-	-	-	-
整形外科	25,621	25,820	27,547	30,379	25,457
合計	22,489	23,105	24,412	25,499	26,933

●診療科別入院診療費の推移

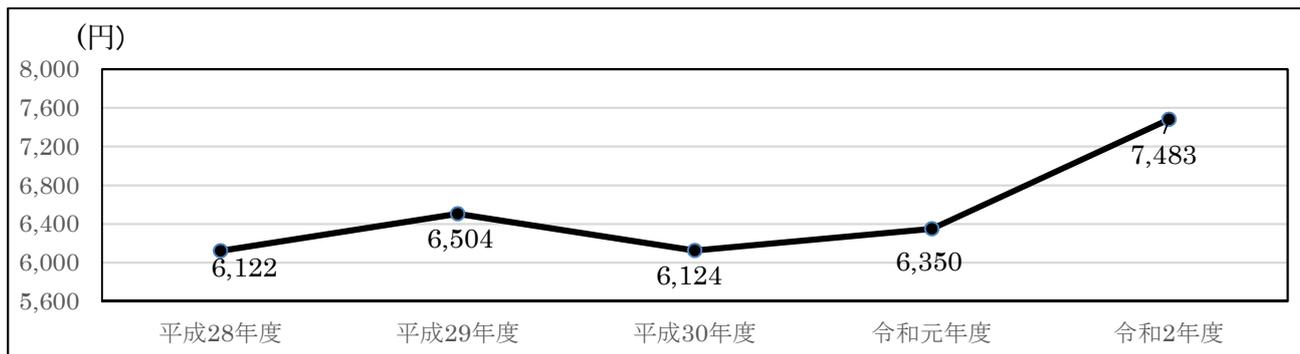


●診療科別入院診療費 (単位：千円)

	平成 28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度	2 年度
内科	506,526	551,251	515,953	605,182	653,628
外科	0	0	0	0	0
整形外科	83,064	53,732	66,279	47,269	46,815
合計	589,590	604,983	582,232	652,451	700,443

ウ 診療科別外来診療費

●1人1日当り外来稼働額の推移

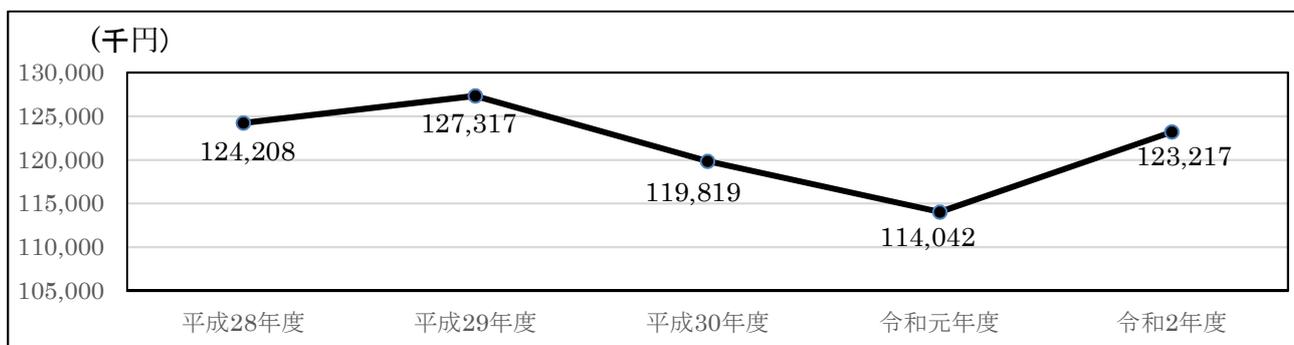


●1人1日当り外来稼働額

(円)

	平成 28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度	2 年度
内科	7,742	8,523	8,221	8,384	10,054
外科	5,568	4,767	4,553	4,556	4,255
整形外科	4,261	4,212	4,456	4,076	4,155
眼科	5,080	4,606	4,884	4,288	5,332
泌尿器科		4,317	2,851	3,320	3,353
合計	6,122	6,504	6,124	6,350	7,483

●診療科別外来診療費の推移



●診療科別外来診療費

(千円)

	平成 28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度	2 年度
内科	79,844	87,384	79,304	78,979	92,548
外科	6,364	4,209	3,260	2,570	1,647
整形外科	35,785	33,511	35,073	30,605	26,342
眼科	2,215	2,036	1,934	1,510	2,399
泌尿器科		177	248	379	282
合計	124,208	127,317	119,819	114,042	123,217

5) 救急医療の現況（時間外・外・深夜）

	時間内						時間外						深夜						救急車 計	その他 計	合計
	交通事故		災害		その他		交通事故		災害		その他		交通事故		災害		その他				
	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他			
4月 入院					2														2		2
外来					3						2	2						2	5	4	9
5月 入院					1						1	1							2	1	3
外来											5	19						1 1	6	20	26
6月 入院					5						1	3							6	3	9
外来					4						2	9						1	7	9	16
7月 入院					4						2	3							6	3	9
外来											3	11							3	11	14
8月 入院					3						1	2							4	2	6
外来					3						3	24							6	24	30
9月 入院					1						1	2							2	2	4
外来					5						4	16						1	9	17	26
10月 入院					2						2	3							4	3	7
外来					3						3	7							6	7	13
11月 入院					7						2	1						1	10	1	11
外来					3						3	6						3	6	9	15
12月 入院					7						2	4							9	4	13
外来					2						2	12						1 1	5	13	18
1月 入院					1						3								4		4
外来					1							8							1	8	9
2月 入院					1							2							1	2	3
外来					1							7						1	2	7	9
3月 入院					4						1								5		5
外来					4						2	4							6	4	10
入院 計					38						16	21						1	55	21	76
外来 計					29						29	125						4 8	62	133	195
合 計					67						45	146						5 8	117	154	271
(再掲)時間帯 別合計	67						191						13						271		

2. 経営状況

(1) 損益計算書

(単位：千円)

支 出		収 入	
医業費用	952,221	医業収益	853,706
材料費	77,758	入院診療収益	701,404
給与費	648,187	室料差額収益	528
委託費	96,180	外来診療収益	122,508
設備関係費	81,414	保健予防活動収益	17,411
研究研修費	870	受託検査・施設利用収益	482
経費	47,812	その他の医業収益	12,797
		保険等査定減	△1,424
医業外費用	5,786	医業外収益	197,301
医療奉仕費用	25,787	医療社会事業収益	33,908
付帯事業費用	63,932	付帯事業収益	86,131
特別損失	699	特別利益	0
法人税等	0		
予備費	0		
損益	122,622		
合 計	1,171,046	合 計	1,171,046

(2) 貸借対照表

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 純 資 産	
流動資産	609,322	流動負債	847,108
固定資産	646,046	固定負債	1,543,766
有形固定資産	356,409	基本金	12,131
無形固定資産	7,442	補助金等	0
その他の資産	282,194	利益剰余金	△1,270,259
		有価証券評価差額	0
合 計	1,255,367	合 計	1,255,367

(3) 収益的収入及び支出の推移 (過去3ヵ年)

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収益的収入合計	954,059	1,032,040	1,171,046
収益的支出合計	983,021	1,013,005	1,048,424
収入支出差引額	△28,962	19,036	122,622

3. 労働災害事故状況

(単位：人)

災害区分		医療職 (一)	医療職 (二)	医療職 (三)	一般職 (一)	一般職 (二)	福祉職	計
業務災害	針刺							
	その他			4		2		6
通勤災害								
合計				4		2		6



非接触温度センサーの設置



蓼科ロータリークラブ様より個人防護具の寄贈

V 職員活動

1. 福利厚生

川西赤十字病院互助会（駒の会）

1. 役員名簿

【会 長】 大和 眞史（院長）

【副会長】 米倉 宏明（副院長） 小林 雅弘（事務部長）

【理 事】 庶務：加藤 仁子（療養病棟） 会計：佐藤 瞳（会計課）

文化趣味厚生部/体育振興部

山口 直子（居宅介護支援事業所） 小埜沢 章子（リハビリテーション）

新井 千文（療養病棟）

病院祭／榊祭り実行部

茂木 徳子（一般病棟） 石川 とも佳（一般病棟）

2. 事業報告

新型コロナウイルス感染症の流行により、予定していた事業がすべて未実施となった。

令和2年に集めた互助会費は会員へ返還とした。

実施月日	内容	場所	出席者数	担当
平成2年 1月9日	新旧引継会	会議室	13名	庶務理事
1月	定期総会（書面決議）	-		庶務理事
3月	【中止】送別会	-		文化趣味厚生部
4月	【中止】歓迎会	-		文化趣味厚生部
6月	【中止】ボーリング大会	-		体育振興部
7月	【中止】榊祭り民謡流し練習	-		病院祭実行部
8月				
10月	【中止】病院祭	-		主催 病院 共催 病院祭実行部
10月～11月	インフルエンザ予防接種助成		100名	
12月	【中止】忘年会	-		文化趣味厚生部

2. 教育

職員学習会

開催月日		時間	内 容	講演者(委員会等)	参加 人数
4月	-	-	【中止】	-	-
5月	-	-	【中止】	-	-
6月	18日	16:30~17:15	「廃棄物分別方法の一部変更と 新型コロナウイルス感染症対策について」	【院内感染対策委員会】 水内 豊 看護部長	40名
	29日				35名
7月	9日	16:30~17:15	「インシデント・アクシデントレポート集計報告と コミュニケーションエラーを防ぐ」	【MRM委員会】 東條 美恵 看護師長	34名
	16日				35名
8月	-	-	【中止】	-	-
9月	17日	16:30~17:40	「認知症の疾患と看護」	【認知症ケアチーム】 福島 亜実 認知症ケア担当看護師	39名
10月	15日	16:15~17:00	「インシデントレポートからはじまる事故防止」	東京海上日動 メディカルサービス (WEB研修)	40名
	23日				16名
	19日	17:00~18:30	「地域医療を守る、取り組み」 「これからの佐久市」	富士見高原病院 井上 憲昭 名誉院長 柳田 清二 佐久市長	59名
11月	4日		「2020年度 下半期へのKick-off」	大和 眞史 病院長	54名
	19日		「迫りくる新型コロナウイルス感染症 「臨時外来」の活用と入院のフローについて」	【院内感染対策委員会】 水内 豊 看護部長	75名
12月	-	-	【中止】	-	-
1月	-	-	【中止】	-	-
2月	-	-	【中止】	-	-
3月	16日	15:30~16:00 16:15~16:45	給与要綱の改正及び 退職一時給与金改正に係る説明会	総務課 濱英明 総務係長	64名
	18日	16:15~16:45 17:00~17:30			
	17日	16:00~17:00	職員・患者満足度調査報告会	【患者サービス委員会】 日本医療経営機構 (WEB報告)	40名

VI 學術実績

講演・教育

氏名	講演	会場
○井出 春恵 木次 弥生 小泉 由香理 滝沢 亜矢	入院直後訪問の体験が病棟看護師の退院支援に及ぼす影響	第 51 回日本看護学会学術集会 在宅看護 (WEB 開催) 2020 年 11 月 1 日～11 月 30 日
○牧野 綾子 相良 真由美 輿石 恵	担当制導入による看護師と看護補助者の協働意識の高まりとチームワークの強化	第 51 回日本看護学会学術集会 慢性期看護 (WEB 開催) 2020 年 11 月 1 日～11 月 30 日
○関 和子 山口 直子 高野 典美	A 市のケアマネジャーが、利用者の人生の最終段階における医療・生活に望むことを話題にしているかの実態について	令和 2 年度看護部看護研究 発表会 2021 年 2 月 10 日
○加藤 綾香 伊藤 直子	スライディングシートを使用しなくなった原因の把握 — スライディングシートの推進に向けて —	
○武田 美絵 石川 とも佳 輿石 恵	せん妄アセスメントシート導入による非薬物的ケアへの効果	
○酒井 冴子 田中 かおり 白石 真紀	認知症高齢者を見守ることのできる地域の強みと課題 — B 地域住民のインタビュー —	
水内 豊	長野県・長野県看護協会主催 介護福祉施設等への訪問支援事業（講演・指導） 「新型コロナウイルス感染症対策について」講師	2020 年 5 月 23 日～12 月 5 日 東北信の施設等 24 カ所訪問
水内 豊	厚生労働省主催 介護施設及び介護事業所における感染症対策力向上支援業務（感染症対策のための実地での研修事業：講演・実地指導） 「新型コロナウイルス感染症対策について」講師	2021 年 2 月 22 日（上田市） 2021 年 3 月 3 日（小諸市）
水内 豊	長野県立望月高等学校 介護福祉基礎 非常勤講師（3 年生）	望月高校 （佐久市） 毎週月曜日 2 時限 3 時限
水内 豊	長野保健医療大学看護学部 微生物・感染症学 非常勤講師（1 年生）	長野保健医療大学看護学部 （長野市） 後期月曜日 4 時限 5 時限

論文・著書（共著を含む）

氏名	論文名	掲載
○関 和子 山口 直子 高野 典美	A市のケアマネジャーが、利用者の人生の最終段階における医療・生活に望むことを話題にしているかの実態について	川西赤十字病院看護部 看護研究集録 第19号 (令和2年度)
○加藤 綾香 伊藤 直子	スライディングシートを使用しなくなった原因の把握 — スライディングシートの推進に向けて —	
○武田 美絵 石川 とも佳 興石 恵	せん妄アセスメントシート導入による非薬物的ケアへの効果	
○酒井 冴子 田中 かおり 白石 真紀	認知症高齢者を見守ることのできる地域の強みと課題 — B地域住民のインタビュー —	
大和 眞史	Toyoda S, Sakuma M, Abe S, et al: Prediction of Long-Term Outcomes in ST-Elevation Myocardial Infarction and Non-ST Elevation Myocardial Infarction with and without Creatinine Kinase Elevation-Post-Hoc Analysis of the J-MINUET Study.	J Clin Med. 18;:2667. 2020
大和 眞史	Akahori H, Masuyama T, Imanaka T, et al; Impact of peripheral artery disease on prognosis after myocardial infarction: The J-MINUET study.	J Cardiol.;76:402-406. 2020
大和 眞史	Wada H, Ogita M, Suwa S, et al: Guideline adherence and long-term clinical outcomes in patients with acute myocardial infarction: a Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) substudy.	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care.;9:939-947. 2020
大和 眞史	Takahashi N, Ogita M, Suwa S, et al: Long-Term Prognosis of Patients with Myocardial Infarction Type 1 and Type 2 with and without Involvement of Coronary Vasospasm.	J Clin Med. 9:1686. 2020
大和 眞史	Suwa S, Ogita M, Ebina H, et al: Admission During Off-Hours Does Not Affect Long-Term Clinical Outcomes of Japanese Patients with Acute Myocardial Infarction.	Int Heart J. 61:215-222. 2020
大和 眞史	大和眞史:「たこつぼ症候群の成り立ちについて、②わが国での経緯」。土橋和文、上嶋健治(編)「たこつぼ症候群—これまでの歩みと味蕾へのメッセージ」pp12-17.	克誠堂出版、東京、 2021

氏名	論文名	掲載
大和 眞史	Takahashi N, Ogita M, Suwa S, et al: Prognostic Impact of B-Type Natriuretic Peptide on Long-Term Clinical Outcomes in Patients with Non-ST-Segment Elevation Acute Myocardial Infarction Without Creatine Kinase Elevation.	Int Heart J. 61:888-895. 2020

VII 災害救護

(1) 令和2年度 登録班員

	職種	氏名	所属部署
第1救護班	班 長	宮島 素子	院長
	看護師長	瀧澤 寿美子	療養病棟
	看 護 師	中村 美紀	外来
	看 護 師	榎沢 みどり	一般病棟
	主 事	依田 敦史	リハビリテーション技術課
	主 事	梅澤 達也	総務課
第2救護班	班 長	宮澤 泉	副院長
	看護師長	翠川 郁代	外来
	看 護 師	岩崎 恭子	一般病棟
	看 護 師	伊藤 直子	療養病棟
	主 事	磯貝 和也	リハビリテーション技術課
	主 事	北沢 俊和	医事課

救護担当(統括)	田中 優彦	総務課
----------	-------	-----

(2) 活動

災害派遣：なし

主な更新・調達資機材：

旧	新
「業務用無線機」 松下電器産業(松下通信工業) EF-2407 150MHz 帯業務用無線基地局 【につせきかわにし】	「業務用無線機」 JVC ケンウッド TCM-D166HBC 150MHz 帯業務用無線基地局 【につせきかわにし】 ※新スプリアス規格対応 ※非常用電源装置(アルカリバッテリー) 撤去
「救急車」 ニッサン キャラバン U-VRMGE24 改	「高規格救急車」 トヨタ ハイメディック CBF-TRH226S ※【につせきかわにし 501】をキャラバンより換装 ※佐久広域連合消防本部からの譲渡
-	「AED(自動体外式除細動器)」 PHILIPS ハートスタート FRx+除細動器 ※新規調達
-	「ポータブル 12 誘導心電計」 フクダ電子 心電図収録解析器 ESP-350 ※新規調達

令和 2 年度
川西赤十字病院
年 報

発行者 川西赤十字病院 院長 酒井 龍一
〒384-2292 長野県佐久市望月 318

編 集 年報編集委員会
広報委員会

委 員 年報編集委員会

委員長 小林 雅弘
幹 事 依田 富士子 濱 英明
委 員 宮島 素子 水内 豊 眞田 哲也
藤巻 千恵子

広 報 委 員 会

委員長 小林 雅弘
幹 事 北澤 俊和 梅澤 達也
委 員 三井 宏映 土屋 美奈 平林 美樹
中澤 礼佳 島崎 茂樹 酒井 冴子
田辺 空良 工藤 百合乃